

崇仁まちづくりニュース

発行日

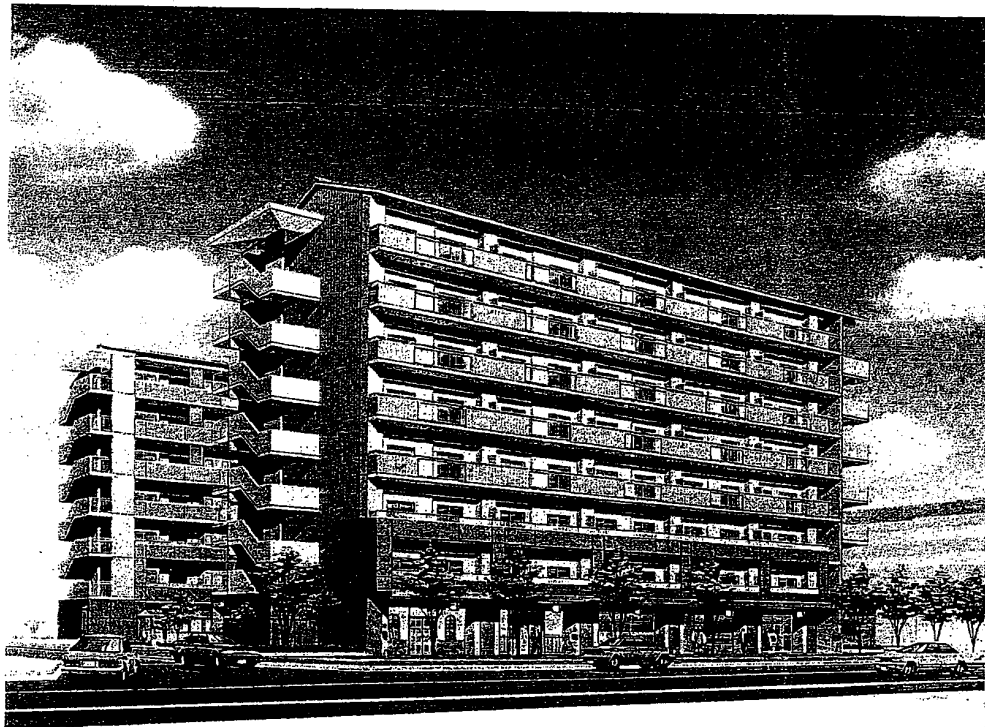
2000.9.25

第29号

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

41棟ブロック・高瀬川工事進む！

—崇仁まちづくり推進委員会 4周年を迎える—



「みんなが主役の崇仁のまちづくり」のスローガンの下、崇仁の住民が一つになり、まちづくりを進めて、この7月で4周年を迎えました。

この間に、「崇仁まちづくり計画構想（案）」を皆様にご承認いただき、昨年3月には「京都市崇仁まちづくり計画」が京都市から発表され、その後、建設省にも承認され、いよいよ本格的なまちづくりがスタートしました。

高瀬川の工事は、本年度中の流路変更を目指し、すでに「柳原橋」も完成し、いよいよ塩小路以北の工事に入ります。

一方、41棟ブロックの建設工事は、5月27日に起工式が行われ、着実に工事が進められ、その姿を少しずつ現してきました。崇仁まちづくり推進委員会発足後はじめての住宅の完成もまもなくです。

今後も、41棟ブロックを皮切りに、他のブロックについても、一日も早く工事に取りかけられるよう頑張っていきたいと思います。

建替を進める会 意見交換会はじまる

崇仁地区には、これから住宅建設を行い、まちづくりを進めていく地域と、改良事業によりすでに住宅建設が終わっている地域があります。しかし、既存の改良住宅はすでに建替えが可能な時期を迎えている住宅もあります。そこで建替えを進める会を開催し、みなさんと一緒に考えることにしました。

5月31日東・西之町ブロック、6月7日屋形町ブロック、6月22日下之町西部ブロックと三つのブロックに分け、入居者の皆様の意見や思いを聞かせていただきました。

そして、

- ・三つのブロックの条件が異なるので、各々に集会を開いて意見を聞いていく。
- ・屋形町ブロック、東・西之町ブロック、下之町西部ブロックは建替と住戸改善の2つの方法を進めていく
- ・話し合いで決まったことは「建替えニュース」で、入居者のみなさんに知らせていく。

などが話し合いで決められました。



「改良住宅等における高齢者等対策住戸改善工事」 受付始まる

8月末、京都市住環境整備室から配られた「くらしとすまい」で、御存じの方もおられると思いますが、「改良住宅等における高齢者等対応住戸改善工事」の受付が始まっています。この工事は、建替えを進める会で検討している建替えや、住戸改善を行うには時間が必要なことから、それまでに生活をする上で困っておられるところを、早急に改善しようというものです。

この工事を受けられるのは、次の方を含む世帯が居住している住戸です。

- ・満65歳以上の高齢者
- ・身体の障害や継続的な疾病のため、日常生活に不便が生じている人

そして、改善内容は、

- ・玄関や便所に手すりをつける
- ・福祉施策により介護ベッドや車椅子を使っている方については、和室の床をフローリングに替える
- ・玄関ドアのノブや台所等の蛇口をレバー式にする
- ・和式の便器を様式に替える

なお、この申し込み期間は、10月31日までです。申し込みがあれば保全課の方が家まで来てくれ、相談にのってくれます。

(連絡先) 住環境整備室保全課(222-3667) または隣保館まで

崇仁小学校ビオトープ 夢ふくらむ



崇仁小学校の中に流れている高瀬川で、ビオトープをつくろうと計画が進められ、これまで学習会を開いたり、見学会を行ってきました。4月からは崇仁小学校の子どもたち全員が、授業である「総合学習」の時間を利用し、高瀬川の生き物や草花について学習したりしています。

- ・もっと、いろんな生き物をみてみたい・つかまえてみたい
- ・生き物をつかまえたり、あそんだりできるビオトープができてほしい
- ・川の中で遊びたい
- ・野生の生き物を育てたい

など、子ども達もビオトープづくりに大きな関心を示しています。これまでのような与えられた教材でなく、自分達でつくっていく自然体験に子ども達も期待しているようです。

これまでのビオトープを参考にしながら、崇仁小学校独自のビオトープをみんなで作って、つくりあげていきたいと思っています。

崇仁まちづくりニュース

発行日

2001.2.10

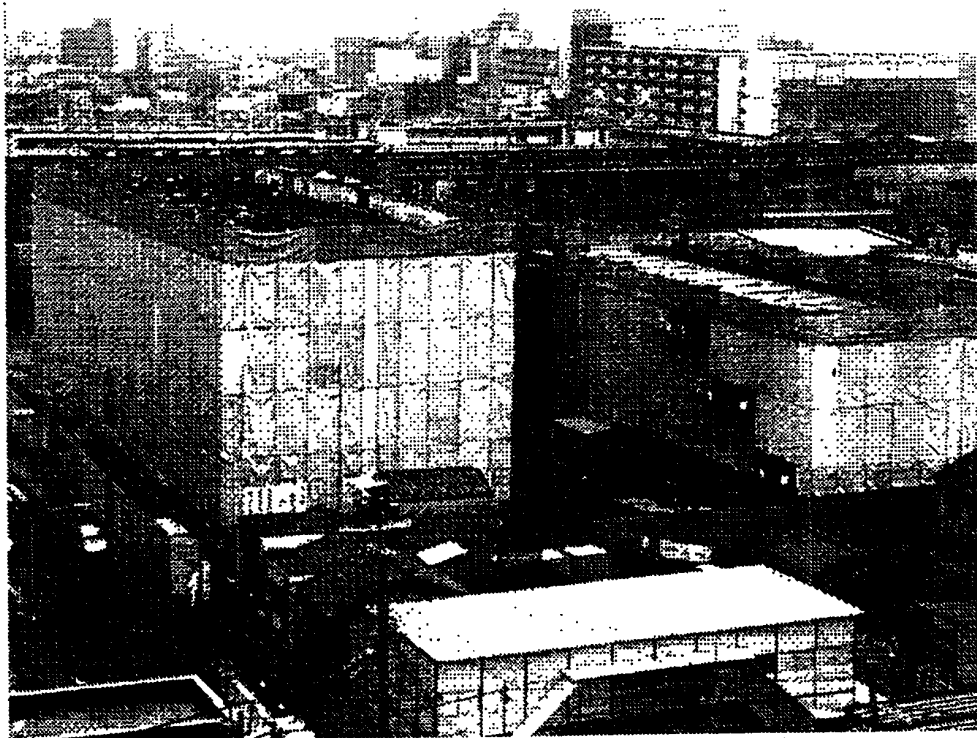
第30号

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

21世紀とともに、新しいまちづくりの幕開けを！

新しい世紀の幕開けと共に、町内の皆さんと取り組みを進めてきております「まちづくり」も、次の重要な段階を迎える事になりました。

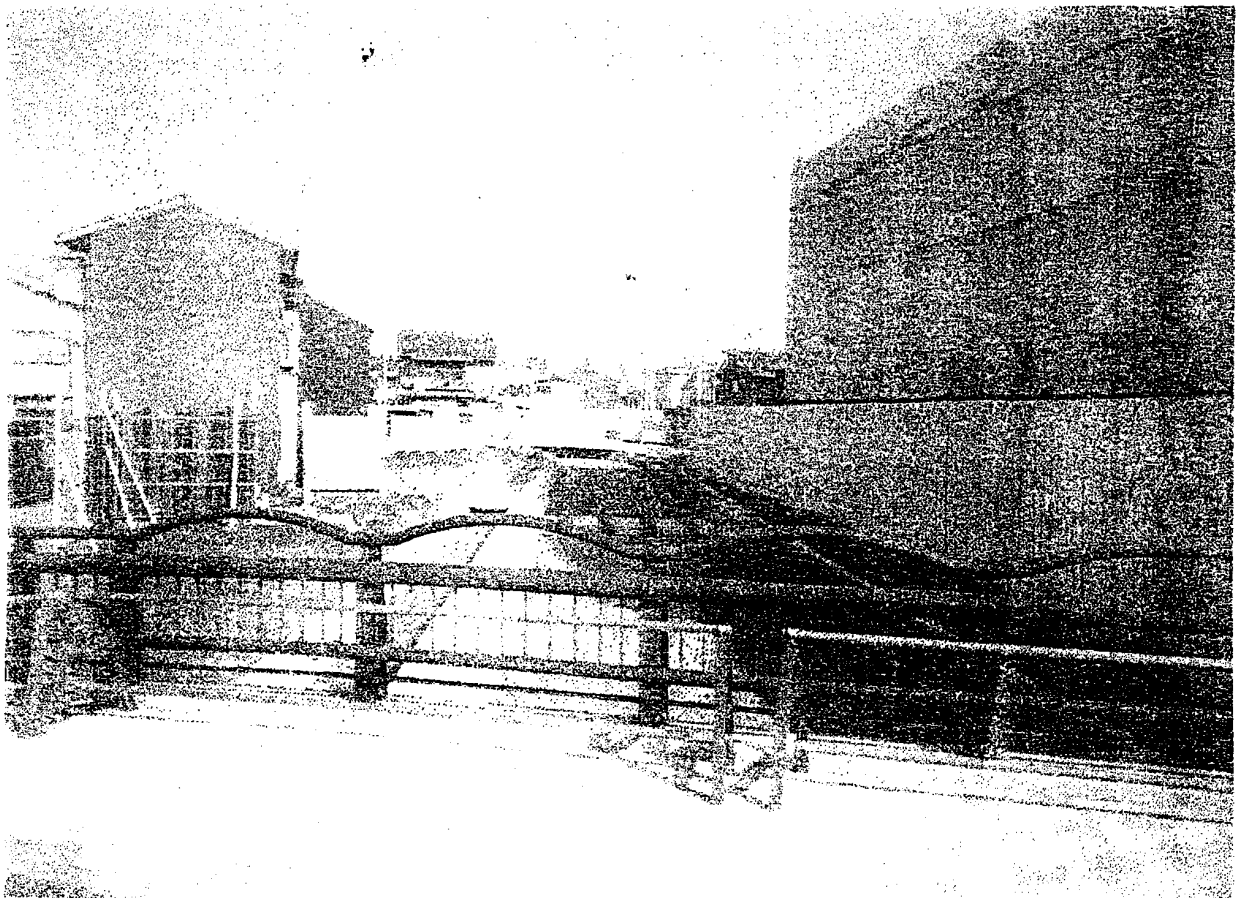
昨年末12月21日に行われました、第31回委員会で京都市から「今後の住環境整備事業の展開について」という提案がされ、今ある課題と今後の展望が示されました。今回その内容を町内の皆様にお知らせすると共に、一日も早く崇仁のまちづくりが実現していくよう、一層努力していくつもりでございます。何とぞご協力をお願いいたします。



建設が進む（仮称）41棟ブロック

I 北部の事業展開について

- ① 塩小路高倉北東ブロック（小稲荷町・郷之町の一部）での住宅建設
 - ・平成12年度 現況測量調査（12月～）
 - ・平成13年度 ブロック基本計画 ⇒ 実施計画
 - ・平成14年度 建設工事着手（可能な範囲）
- ② 41棟ブロック建設
 - ・平成14年度 41棟ブロック第一期入居開始予定
 - ・第二期建設（C棟、店舗棟、広場など）建設用地を確保しだい、設計・工事
- ③ 崇仁北部第三住宅地区（下之町中東部）の買収の促進
 - ・41棟第一期の建設により、75戸の住宅が供給できる
 - ・買収跡地には交流ゾーンの構想があり高齢者のための福祉施設を備えた合築施設建設等の用地



あたらしい高瀬川（完成した柳原橋から）

Ⅱ 南部の事業展開について

① 既存改良住宅建替、改善事業について

事業地域を3つのブロック（東・西之町、屋形町、下之町西部）に分け、それぞれの地域状況に見合った事業を展開するが、基本的には建設年度が古いブロックから計画を行う。

- ・平成12年度 住民意向調査実施（2月～3月）
- ・平成13年度 基本構想の策定、建替承認申請
- ・平成14年度 基本計画の策定
- ・平成15年度 実施設計
- ・平成16年度 工事着手

② ブロックごとの事業の方針

◆東・西之町ブロック 1棟～7棟は建替
8棟は住戸改善（エレベーター設置を含む）

◆屋形町ブロック

11棟～13棟は建替

日影、高さ制限等の規制により現有戸数確保が困難なため、保育所跡地などの活用を含めた検討を行う。

◆下之町西部ブロック

21棟～23棟、25棟、26棟は建替。24棟、27棟は住戸改善（エレベーター設置を含む）

③ 居住水準の考え方

- ・住戸面積は70㎡及び55㎡の型別供給を基本とする。
- ・高齢者、身体障害者等の快適な生活を確保するためバリアフリータイプとする。

④ 建替までに取り組む課題について

- ・高齢者、身体障害者の住み替えの福祉対策について
- ・駐車場問題

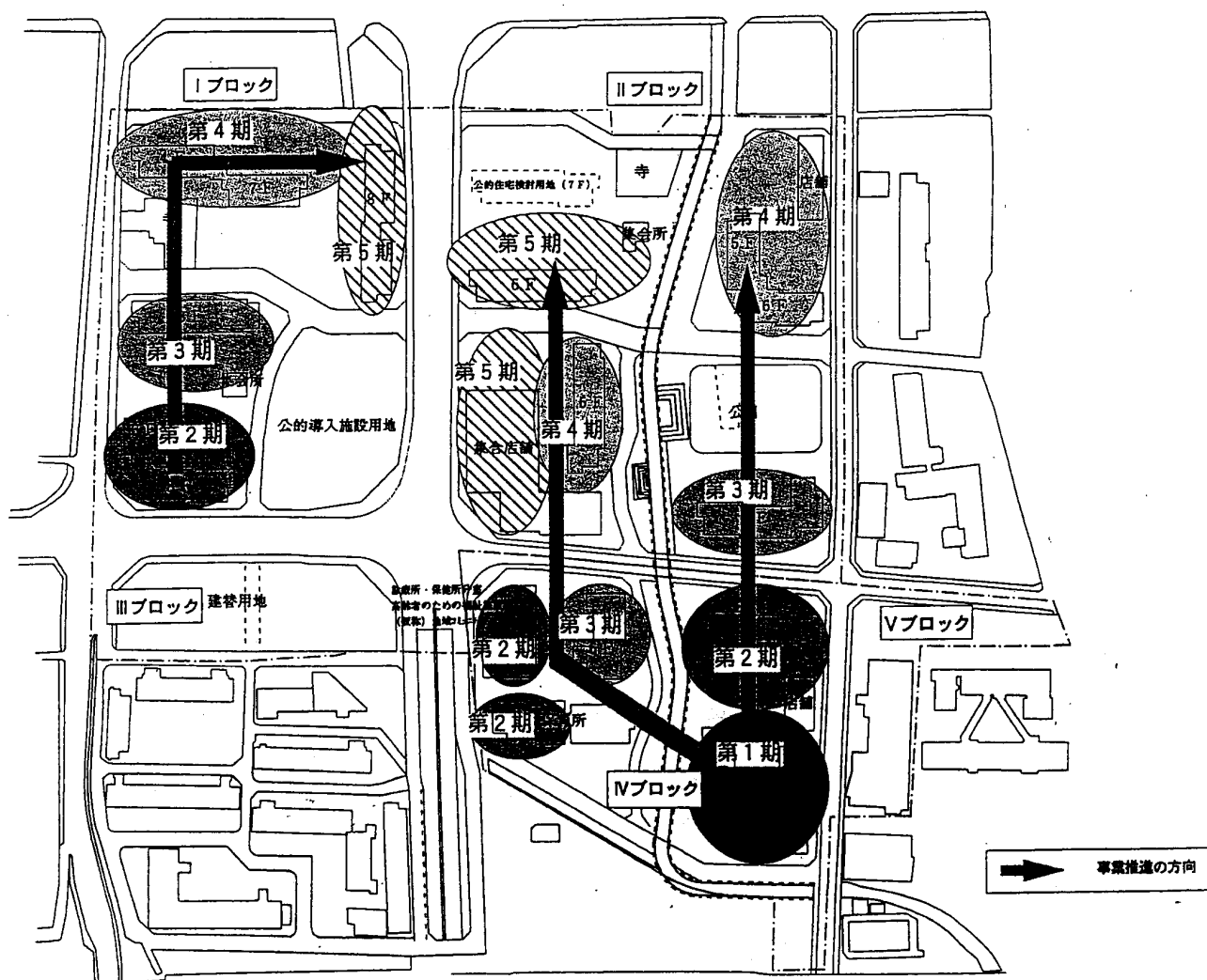
⑤ その他

- ・入居者は、原則として、建替事業により除却する住宅の入居者とし、旧住宅1名義人1戸
- ・不正入居者に対しては明け渡しを指導し、新住宅への入居は承認しない。
- ・入居後の家賃は、応能応益家賃住宅により算定。なお、入居後5年間は負担調整期間を設け、家賃の激変緩和を行う。
- ・建替事業の実施に伴う仮住戸については、既設改良住宅棟の余剰戸の活用及び仮設住宅の建設、民間住宅の借上げにより対応する。
- ・建替事業の実施に伴う移転費用については、移転料を支払う。

Ⅲ 多彩な住宅の供給について

所得階層が二極分化してきている中で、活力ある中間所得階層の流失傾向が表面化しつつあるが、応能応益家賃制度の導入により、その傾向が一層進むことも懸念される。このような状況のもと、「住み続けられるまちの形成」のためには、これまでの画一的な改良住宅や更新住宅の供給のみならず多様な住宅供給促進を考えていく必要がある。

事業工程の方針図



崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発 効 日
2001. 8. 1
第 3 1 号

『進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪』

6月30日（土）、『進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪』のスローガンを先頭に、まちづくり5周年記念パレードを行いました。

パレードには、学区内の皆様をはじめ、まちづくりに携わっていただいている方々、学区外から崇仁を応援していただいている方々など、たくさんの皆様の参加を得られ、記念事業のスローガンのとおり、私たちの活動の輪、崇仁を応援してくださる方々の輪が着実に広がってきていると考えています。

まちづくり推進委員会として初めて取り組んだ高瀬川の流路変更工事も進み、仮称41棟の住宅建設もいよいよ仕上げ工事の段階に入っています。崇仁のまちづくりは、5周年を迎えて新たな段階を迎えています。私たちはパレードをしながら、これまでの取組と今後の課題をまとめたパンフレットを住民の皆様にお配りし、協力を訴えました。



崇仁まちづくり推進委員会がめざすこれからの取組内容

【北部のまちづくり】

- ・遅れている改良住宅の早期建設に向けた取組を展開します。
- ・住民の意向を踏まえた多様な住宅導入の検討を行います。
- ・事業の早期推進をめざし、クリアランス方式に加えて、他の事業手法導入の検討を進めます。

【南部のまちづくり】

- ・ 3つのブロックごとに建替を基本としたまちづくりの検討を進め建替基本構想をまとめます。

【交流ゾーンの具体化に向けて】

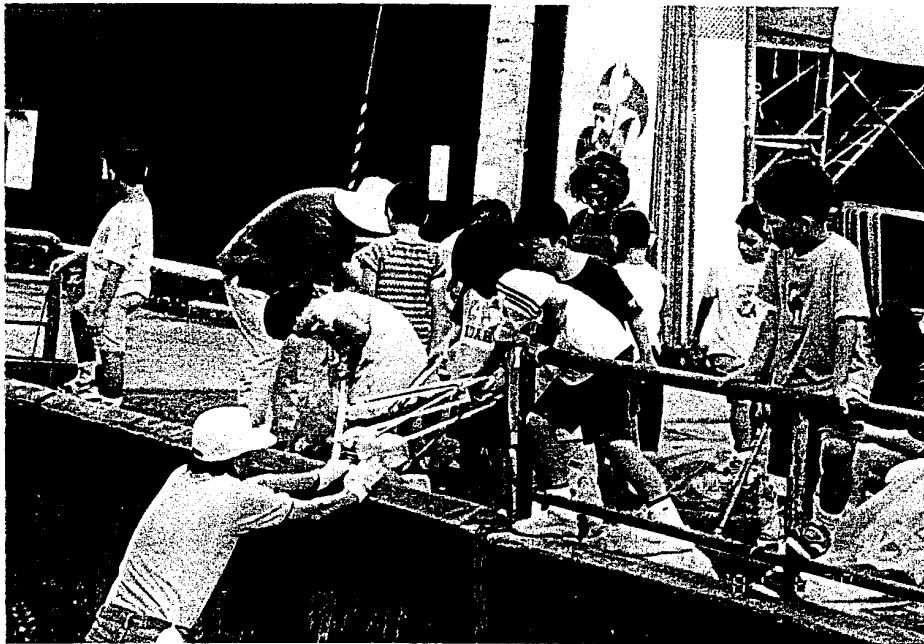
- ・ 交流ゾーンに導入する機能の整理を行い、基本構想を検討します。

【商業ゾーンについて】

- ・ 地区内商業者の皆様の意向を踏まえ、「住民にとっての商業施設のあり方」を検討します。

【崇仁小学校ビオトープ】

- ・ 今年度中の完成を目指し、整備を進めます。
- ・ みんなで行う作業に協力をお願いし、思い出となるビオトープづくりを行います。



このパレードに先立ち、「花によるまちの美化」を行いました。すでに皆様もお気づきのように、崇仁小学校の正門（北門）の周りにフラワーポットを並べ、住民の皆様や道行く人々の目を和ませています。その後、午後からは崇仁小学校の子供たちも参加し、「高瀬川のクリーンキャンペーン」を行いました。流路が変わる高瀬川をみんなの手できれいにしようと、空き缶やゴミをみんなで拾い上げ、きれいな川にしました。

5周年を迎え、まちづくりも次の新たな段階へと確実に進んできました。まちづくりは住民の皆様の協力で進めていくものです。「みんなが主役の崇仁のまちづくり」というスローガンは今後も押し進めていきます。共にがんばりましょう。

まちづくりの推進にご協力を！

今後、新しく住宅建設を進めていく予定であります。事業の推進には住民の皆さんのご理解とご協力がなければ進めることはできません。どうか、崇仁のまちづくりのために、ご協力をお願いいたします。

事業用地の確保は、京都市の住環境整備室の「用地課」の方がご説明とお願いに伺います。充分にご相談いただき、ご協力をお願いいたします。なお、ご不明な点、ご質問があればいつでも「崇仁まちづくり推進委員会」にご相談ください。

皆さん、こんにちは！！

住環境整備室 用地課長の“川井”です。



平素は、住環境整備事業にご協力いただき誠にありがとうございます。

お陰様で、事業の方も「崇仁まちづくり推進委員会」のご協力を得、仮称41棟建設工事、高瀬川付替工事も完成間近となってまいりました。

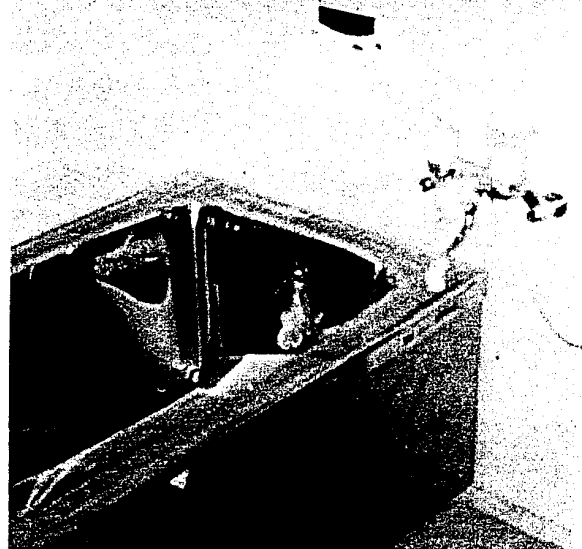
さて、用地課におきましても、現在次期事業用地（仮称41棟二期住宅建設用地、塩小路高倉住宅建設用地等）の取得に向けて日々取り組んでいるところですが、何分にも皆様方のご協力なしでは、事業推進が図れません。

今後とも、用地課職員一同、精一杯取り組んでまいります所存でございます。

つきましては、皆様方のより一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

「いつまでも安心して暮らせるまち」を目指して、まちづくりを進めましょう！！

仮称41棟愛称募集！



仮称41棟ブロックA棟・B棟の新築工事も、いよいよ内装工事、周辺工事を残すのみとなり、完成間近の段階に入っています。

覆いが取られた建物を注意深くご覧の方はお気づきかもしれませんが、従前の“市営住宅”につきものの「棟番号」の表示がされていません。

まちづくり推進委員会では、「住民が主役」として考えてきた崇仁の住宅は、私たちのまちにふさわしく、また、21世紀の住宅としてふさわしい建物であることを願っています。

新しく建設される住宅、建替え等により整備される崇仁の住宅には、このまちに住む私たちが考えた愛称をつけていきたいと考えています。

その先陣を切る仮称41棟の愛称を募集いたします。

花の名前？ 木の名前？ 色の名前？ などなど

私たちのまちに似合う、まちの住人が親しめる愛称をお待ちしています。

応募者	ご住所	町	棟	号
	お名前		年齢	才
	電話番号	()	—	
愛称				
(理由：愛称として考えた理由等があれば、参考として記入してください)				

※応募いただいた愛称を委員会で選考し、仮称41棟の愛称とさせていただきます。

※8月末日を締切りとし、決定した愛称を11月の文化祭で表彰する予定です。

※記入いただいた用紙は、お近くのまちづくり委員または隣保館に提出してください。

崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発	行	日
2001. 10. 19		
第	3	2 号

『進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪』

日頃は、まちづくり並びに崇仁学区の発展にご協力いただき厚くお礼申し上げます。9月13日(木)に第34回のまちづくり推進委員会が開催され、この5年間の私たちの取組の成果として、「今後5年間の崇仁まちづくり計画」の確認を行いました。遅れている事業を急ピッチで進める事業計画です。おおまかな内容は次の通りですが、詳細は11月17日から開催予定の「崇仁文化祭」で発表する予定です。ご協力よろしくお願いします。

◆高瀬川・ピオトープ事業

平成15年度完成

◆交流ゾーン(隣保館北側)

平成16年度「福祉施設」と「改良住宅」建設着工予定

◆「北部」仮称41棟周辺

平成14年度「店舗・住宅」(C棟)建設着工予定

◆塩小路以北の「北部」事業

◇「塩小路高倉」北東(船鉾保管庫周辺)

平成14年度「店舗・住宅」建設着工予定

◇「塩小路河原町」北東(新高瀬川西側)

平成15年度「店舗・住宅」

平成18年度「商業施設」建設着工予定

◇「塩小路須原」北西(新高瀬川東側)

平成17年度「店舗・住宅」建設着工予定

◆「南部」建替え事業

◇東之町・西之町ブロック建替え

平成15年度1期事業着工・平成17年度2期着工予定

(平成14年度エレベータ設置予定)

◇屋形町ブロック建替え

平成16年度着工予定

◇下之町西部ブロック建替え

平成17年度「住宅・店舗」1期着工予定

崇仁地区まちづくりの これからの事業スケジュール案

A 塩小路高倉ブロックでの取組

○塩小路通より北側で最初の住宅建設の取組として、住宅と店舗を計画します。
○13年度は住民の意見を取り入れた基本計画の策定を行います。

■住宅等施設の整備予定

13年度—基本計画
14年度—実施設計の上
工事着手
16年度中に完成で入居予定
です

B 下之町西部ブロックでの取組

○建替を進める会を今後も開催して建替および住戸改善によるまちづくりの構想をまとめていきます。
○整備の考え方
・21,22,23,25,26棟は順次建て替えていきます。
・24,27棟はエレベーター設置などの住戸改善を実施。

■建替事業の予定

14年度—住戸改善の検討
15年度—基本計画
16年度—実施設計
17年度—第1期工事着手
18年度末に第1期入居予定です

C 東之町・西之町ブロックでの取組

○建替を進める会を今後も開催して建替および住戸改善によるまちづくりの構想をまとめていきます。
○整備の考え方
1棟〜7棟は街区全体で建て替えます。
8棟はエレベーターを設置します。

■建替事業の予定

14年度—基本計画
15年度—実施設計、工事着手
16年度中に第Ⅰ期住棟が完成し、入居予定です。引き続きⅡ期工事を進めます。

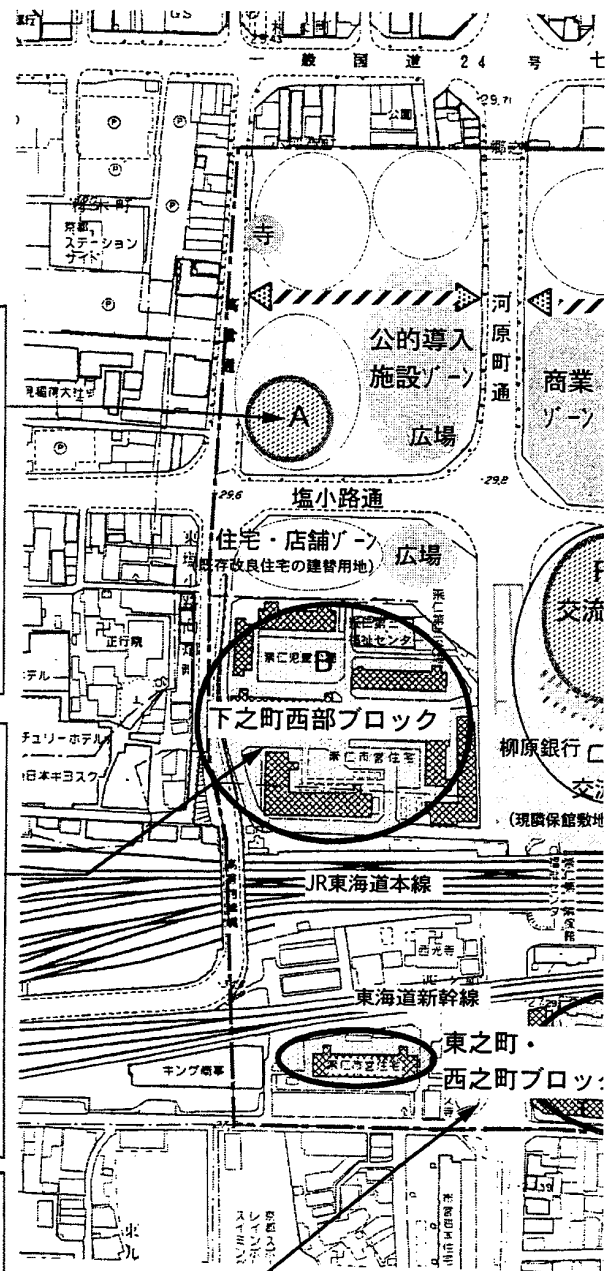
■8棟のエレベーターは14年度設置予定です

D 高瀬川の整備

○平成14年3月に新しい高瀬川の流れに切り替えます。
○以後、廃川部分の整備、柳原銀行資料館前のせせらぎの工事を進めます。

■建替事業の予定

14年3月に流路を切り替え
14年度—廃川部分の整備
15年度—せせらぎの整備



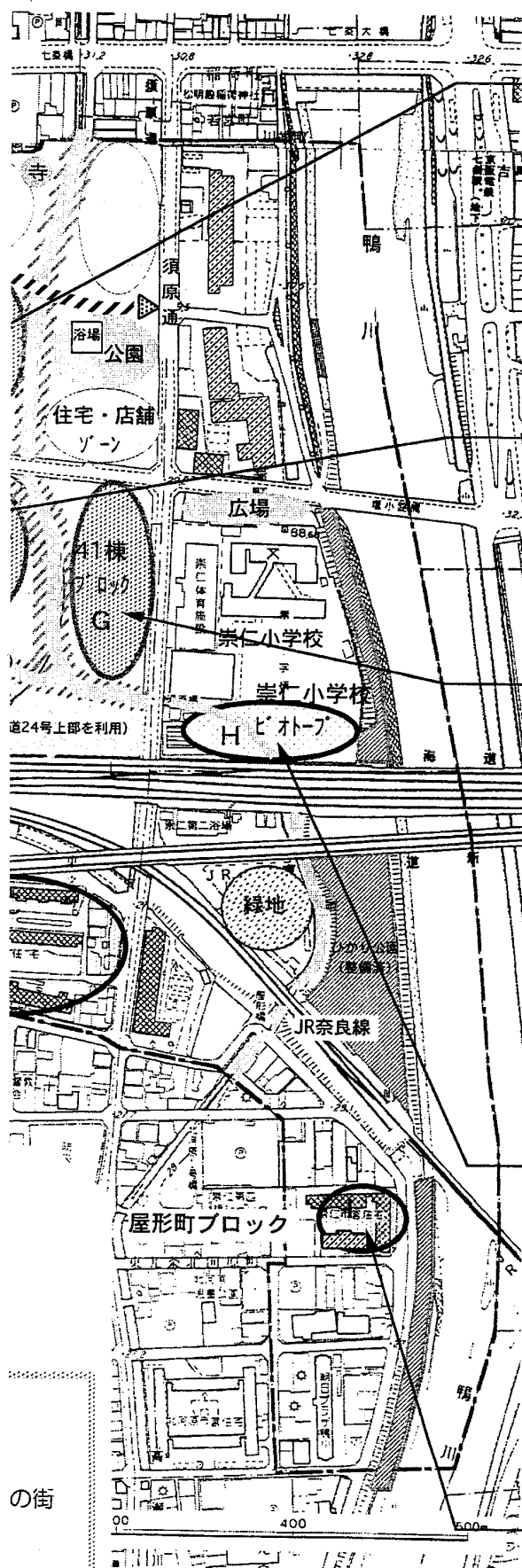
まちのいたる所で工事が始まりま

○北部のまちづくり

・遅れている改良住宅の早期建設に向け、いく区で同時に工事着手を進めていきます。

○南部のまちづくり

・建替時期を迎えつつある改良住宅について、くごとに建替および住戸改善によるまちづくりていきます。



の街
ロッ
開し

E 高瀬川西側での住宅整備の取組

○41棟ブロックに引き続き、塩小路通の北側での住宅建設に取り組みます。

■住宅等施設の整備予定

14年度—基本計画
15年度—実施設計の上
工事着手
16年度中に完成で入居予定
です

F 交流ゾーンでの取組

○診療所、保健所分室、高齢者のための福祉施設、地域コミュニティセンター、消防分団器具庫の合築施設を整備します。

○あわせて、保育所、住宅の整備を行います。

■合築施設の整備予定

14年度—基本構想
15年度—実施設計
16年度—工事着手
17年度中にオープン予定

G 41棟ブロック（仮称）の整備

○A,B棟は今秋完成で14年3月に入居を開始します。なお、秋の文化祭では新しい住宅の見学会を開催します。

○引き続き店舗棟、C棟の建設を進めます。

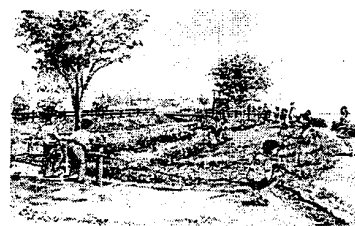
■C棟・店舗棟の整備予定

14年度—実施設計
工事着手
15年度中に入居予定です

H 崇仁小学校ビオトープの整備

○崇仁小学校の校庭を流れる高瀬川で、「崇仁小学校ビオトープづくり」に取り組んでいます。

○平成14年3月の完成をめざし、子どもと大人の協働作業による手作りのビオトープをめざしています。



(ビオトープのイメージ図)

I 屋形町ブロックでの取組

○建替を進める会を今後も開催して建替によるまちづくりの構想をまとめています。

○11棟,12棟,13棟同時の工事を予定しています。

■建替事業の予定

14年度—移転計画等についての合意形成づくり
15年度—基本計画
16年度—実施設計、
仮移転、撤去工事、
新規住棟工事着手
17年度中に入居予定です

まちづくりは人づくり（活動報告）

■第5回崇仁夏まつり開催！[8月18日（土）]



当日は、ご町内の皆様を始め、各党議員・行政の方々のご参加をいただき、成功裏に終わることができました。関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。まつりは、防災のタベ・どんどこ太鼓やお囃子会の演奏・こどもまつり・模擬店、恒例の「江州音頭・盆踊り大会」も行われ、夏の夜の楽しい一日となりました。お年寄りから、若い人・こども、男性も女性もいろいろな人が集えた「まつり」のような、そんな崇仁のまちに早くしたいという皆さん方の願いを受け止めて、決意を新たにいたしました。

■仮称41棟の愛称決定！

6月から皆様と呼びかけておりました「新しい崇仁の住宅の愛称」につきましては、多くの皆様の様々な思いや、これからのまちへの願いを含めた愛称を多数応募いただきました。ありがとうございました。皆様から応募いただいた愛称を委員会で検討し、新しい崇仁のまちにふさわしく、いつまでも住み続けたいまちの象徴となるよう、そんな願いを含めた愛称に決定させていただきました。決定した愛称は文化祭で皆様に発表させていただくことを考えています。どうぞ、お楽しみにしてください。また、来春の入居に向けて、事業区域の方への事業説明会、そして見学会等も行われます。今後のまちづくりの進展にご期待ください。

■子供達を育てるための奨学金存続署名を提出！

8月に崇仁自治連合会・崇仁乳幼児保育所育成会・崇仁小学校PTA・皆山中学校PTA崇仁支部・崇仁教育連絡会が呼びかけ人となって、署名をお願いいたしましたところ、崇仁学区にお住まいの皆様をはじめ、ご親戚やお友だちから署名が3,350名（崇仁の人口の1.5倍）集まりました。8月30日に各団体の代表が市役所を訪れ、関係局責任者立ち会いのもと、中野文化市民局長に直接手渡し、一日も早い回答を要請いたしました。

（毎日新聞）

同和地区奨学金制度
継続求め市に要請書
下京区の崇仁地区の自治連合会や教育連絡会など5団体は30日、同和地区対象の大学進学奨学金制度「地域改善対策就学奨励金」の継続を求めた要請書を、3350人分の署名を添えて京都市に提出した。
要請書では「大学進学率にはなお格差が大きい。奨学金制度は進路保障を獲得する基盤」と主張。市側は同和対策事業が今年度で終わるため、奨学金制度も再検討しており、「署名者の声を無視することなく、趣旨を踏まえて判断する」と答えた。【山崎明子】

崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発行日
2001. 12. 28
第 3 3 号

『崇仁市営住宅“楓のまち” 竣工式行われる』

皆様とともに取組をしまいいりました新しい住宅ができあがり、11月17日からの「第8回崇仁文化祭」に合わせ、竣工式が行われました。

竣工式は、地元住民の多くの参加のもと、岡本重雄下京区長をはじめ、多数の来賓をお迎えし、盛大に執り行われました。

この住宅は、「崇仁まちづくり推進委員会」の発足以後、最初に建設された住宅であります。完成に至るまでには多くの論議や見学会が重ねられ、今後建設される住宅のモデルとして、多くの方々の関心が寄せられています。奥田正治会長も挨拶の中で、残りの事業の一日も早い完成に向けて一層努力する決意を新たにされていました。



また、式典では、広く住民の皆様に募集し決定しました愛称「楓のまち」の命名者である『木崎キノさん（上之町）』の表彰も行われました。楓の木が41棟のシンボルの木として、名前とともに皆様に愛されるまちにしていきたいと思っています。

式典後、完成した41棟の見学会も行われ、地区内外を問わず、たくさんの方が見学に訪れ、まちづくりへの関心と期待の大きさを物語っていました。

楓のまち（41 棟）見学相談会開催

文化祭でも皆様にご覧いただきましたが、今後の新規事業、建替え事業のモデル住宅となる『楓のまち（41 棟）』の見学相談会が開催されています。

相談会では、京都市の事業担当と用地買収担当が皆様のお越しをお待ちし、入居に関するご相談や、用地買収に関するご相談、また今後の事業展開に関する説明にに応じてくれますので、お気軽にお訪ねください。

◆水曜日（午後 1 時～午後 4 時 30 分まで）

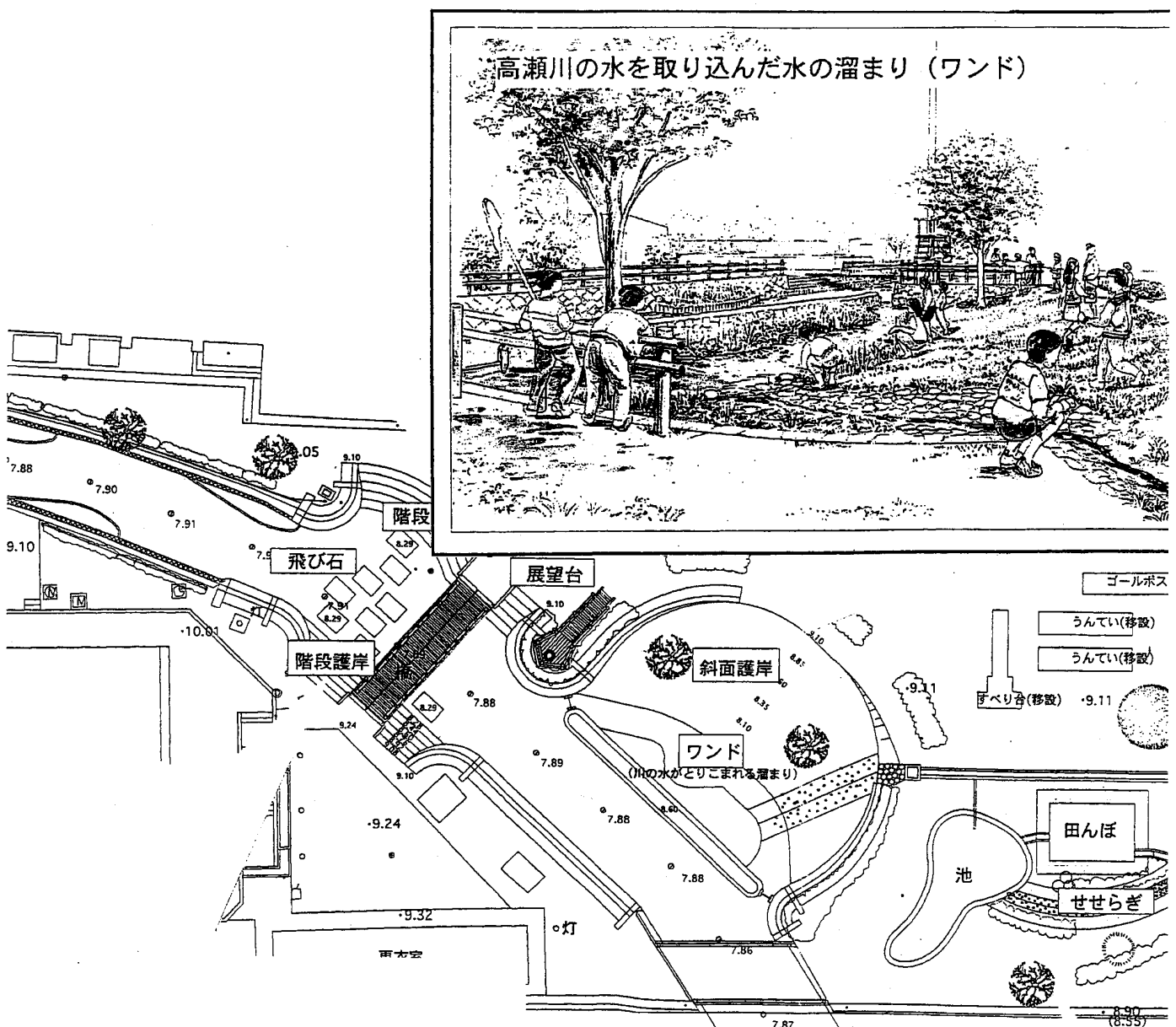
1 月 16 日、1 月 23 日、1 月 30 日

◆金曜日（午後 4 時～午後 7 時まで）

1 月 18 日、1 月 25 日

◇受付場所：楓のまち（41 棟）1 階集会所

※2月以後の予定につきましては、詳細が決まり次第お知らせいたします。



崇仁小ビオトープ整備工事はじまる

崇仁小学校のビオトープ整備は、来年3月の完成に向けて工事が既に始まっています。小学校の児童が中心となり、皆でアイデアや思いを盛り込んだ「崇仁小学校ビオトープ」計画が完成し、いよいよ工事を進めています。

現在、小学校のグラウンドには柵が設けられ、その中で、建設機械が作業を行っています。また、1月には、住民の皆様にも作業に協力いただく『池づくり』も計画しています。皆んなで造り上げるのが「ビオトープ」です。子供も大人も、住民がたくさん参加して、住民皆んなが大切に思えるビオトープを造りたいと思います。たくさんの皆様の参加をお待ちしています。

◆土曜日（午後1時～午後4時まで）

1月12日, 19日, 26日, 2月2日, 9日, 16日

◆日曜日（午前10時～午後4時まで）

1月13日, 20日, 27日, 2月3日, 10日, 17日

◇作業場所：崇仁小学校校庭

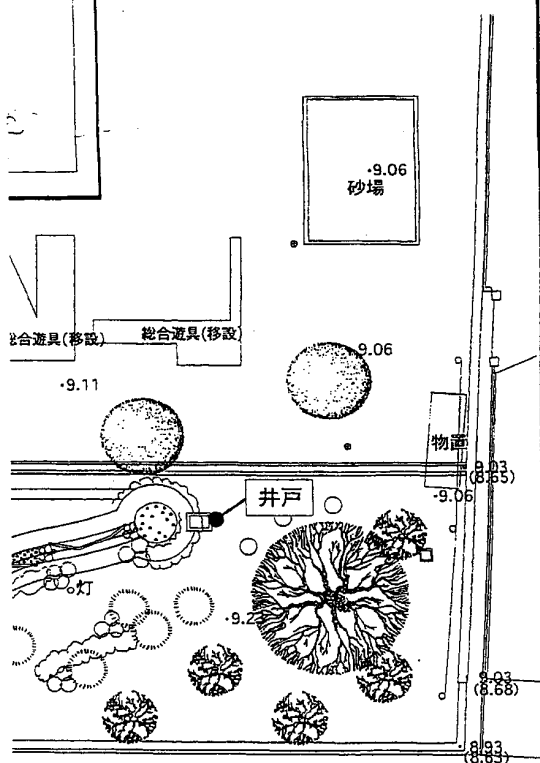
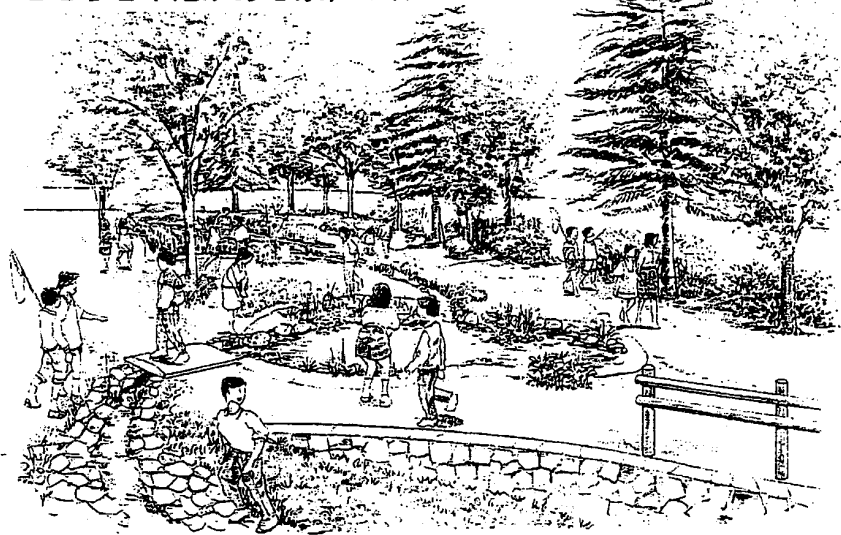
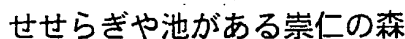
※誰でもできる簡単な作業です。長靴、汚れても良い服装で参加してください。

※短時間や賑やかしの参加でも歓迎いたしますので、ふるって参加願います。

※作業のはかどり具合により、予定を短縮する場合があります。

※雨天の場合は中止いたします。

※詳しくは、小学校又は隣保館までお尋ねください。

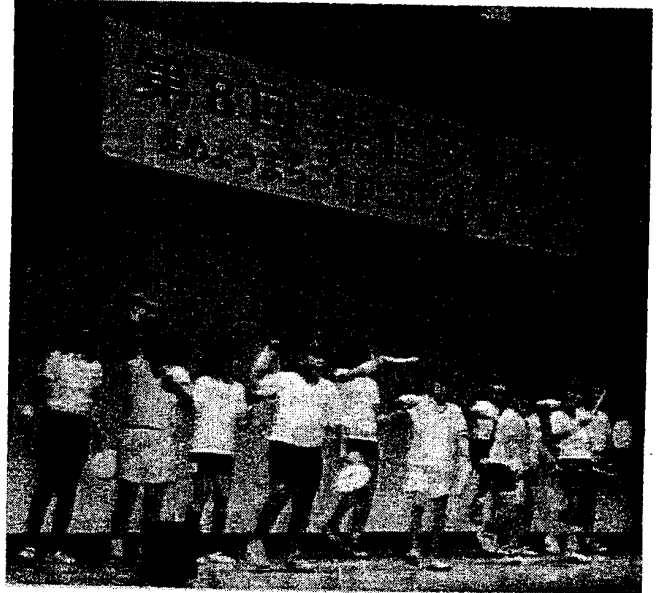


まちづくりは人づくり（活動報告）

■第8回崇仁文化祭開催！[11月17日（土）～18日（日）]

—崇仁の文化とまちづくり2001—

11月17日と18日の両日にわたり、『第8回崇仁文化祭』が崇仁屋内体育施設で開催されました。今年は、昨年の内容に加え、崇仁小学校の4年生児童が運動会でも披露した「エイサー（沖縄舞踊）」の踊りや、小学校の伊藤先生と御友人とのグループであるコークスによる「なつかしいフォークソング」の演奏も加わり、昨年以上の舞台発表となり、ご参加いただいた皆様には楽しい一日を過ごしていただきました。



初日の最後に「まちづくり報告会」を開催し、この5年間のまちづくりの取組報告と今後の計画を発表しました。

■2002年：崇仁のまちづくり活動6年目に向けて

前号のまちづくりニュースと文化祭で発表された「崇仁まちづくりのこれからの事業スケジュール」計画案は、決してこの1年で策定されたものではありません。この5年間にいただいた皆様のご意見と、まちづくり推進委員会と京都市が積み重ねた議論の集大成として策定された計画案で、崇仁学区に求められる事業であり、推し進めなくてはならない事業であると考えています。

我々はこの5年間、様々な課題と困難な問題に関わりながらも、崇仁学区のため、そして崇仁学区の住民のために走り続けてまいりました。今年、楓のまち（41棟）が完成し、高瀬川の流路変更も着実に進み、変わり行く崇仁のまちが姿を現しつつあります。そして、活動を開始して6年目の来年からは、いよいよ『新しい崇仁のまち』に向けて事業が進んでいきます。

今後は、まちの至る所で住宅や施設等の工事が同時に進んでいきます。計画案どおりに事業を展開すれば、5年後にはすべての事業が進行していることになり、『新しい崇仁のまち』が形づいていくことになります。

それには、住民の皆様のご理解とご協力が必要です。「進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪」のスローガンのもと、最大限のご協力をお願いいたします。

崇仁まちづくりニュース

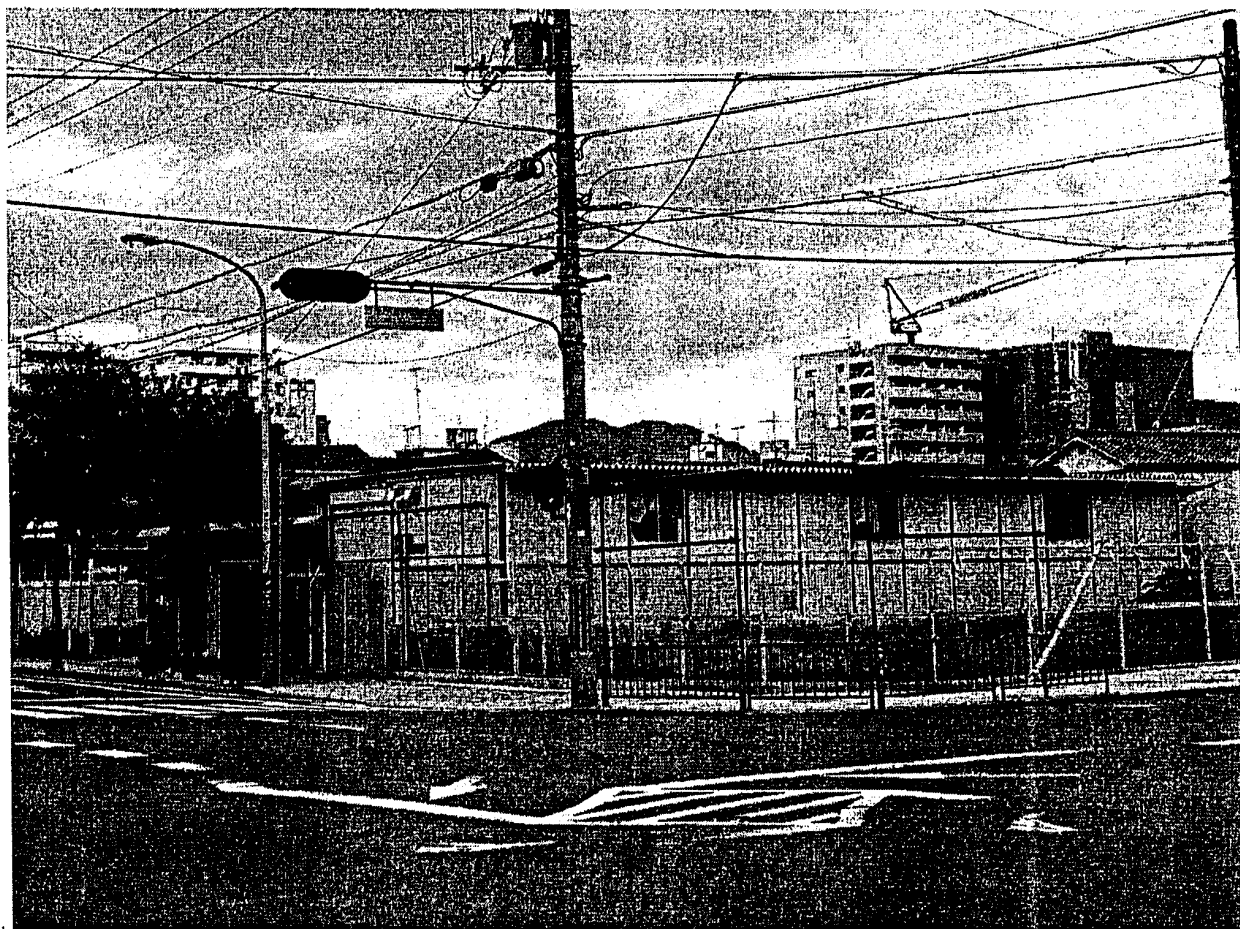
発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発行日
2002.10.30
第 3 4 号

『塩小路高倉ブロックに新しい住宅を建設』

崇仁まちづくり推進委員会が発足して6年が経過しました。今年2002年1月には、高瀬川の流路も変わり、3月には住民みんなで「崇仁ビオトープ」を完成させ、「楓のまち（41棟）」の入居が始まりました。確実に崇仁のまちは生まれ変わろうとしています。

しかし、まだまだ進めていくべき問題も多く残されています。塩小路高倉ブロック（塩小路高倉北東部）の住宅建設もその一つです。空地が点在する崇仁のまちで住まわれている皆さまの強いご要望にお応えし、可能なところから住宅の建設を進めることで、一刻も早いまちづくりの完成に向け取り組んでいきます。



【塩小路高倉ブロックの事業計画地】

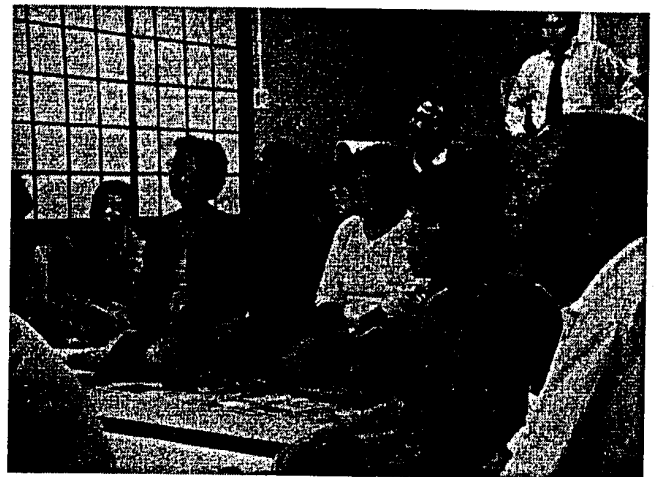
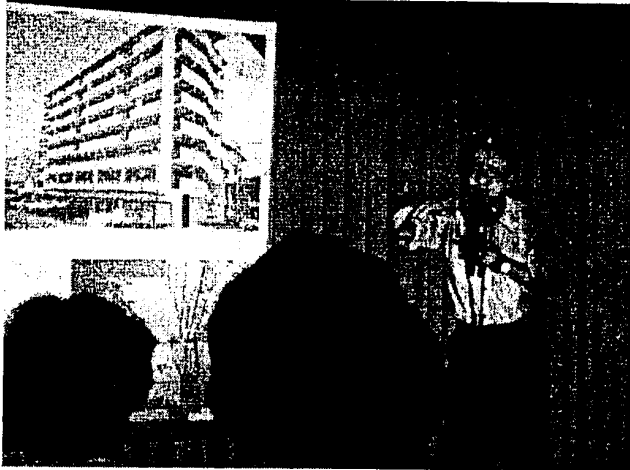
塩小路高倉ブロックは、京都駅に近く、崇仁のまちの玄関にあたる場所として、多くの関心も集まっています。崇仁のまちにふさわしい住宅の建設を目指します。

塩小路高倉ブロック意見交換会を開催

塩小路高倉ブロックの住宅建設においては、現在、「基本計画」に着手しているところですが、これまでの手法どおりに入居予定の皆さまのご意見を十分に聞かせていただき、取り入れようと思っています。そこで、9月11日には「まち歩き」を行い、建設予定のまちの様子を見て歩きました。

冒頭でも説明したとおり、塩小路高倉ブロックは崇仁のまちの玄関にあたる場所です。しかし、入居される方のご意見が一番大事です。入居が予定される対象地域には高齢者の方が多く住まわれており、その方々が安心して、住み続けられる住宅建設を考えていきたいと思ひます。そこで、10月2日に、対象地域の皆さまに集まっただき、事業の説明を行うとともに、意見交換会を開催しました。

【意見交換会（第1回ワークショップ：10月2日）】



意見交換会では、参加いただいた方々から次のような意見が出されました。

- 日当たりの良い南向きの住宅を建ててほしい
- 駐車場の確保をお願いしたい
- 部屋内の段差を解消した高齢者にも住みやすい住宅を建設してほしい
- 意見交換会のように、住民が参加できる機会を設けて進めてほしい。

続いて、第2回ワークショップとして、10月26日に、崇仁学区の新しい市営住宅である『楓のまち（41棟）の見学会と意見交換会』を開催し、見学のあとにはアンケートを行いました。11月には、第3回ワークショップを開催し、皆さまの思いを反映した住宅を目指していきます。

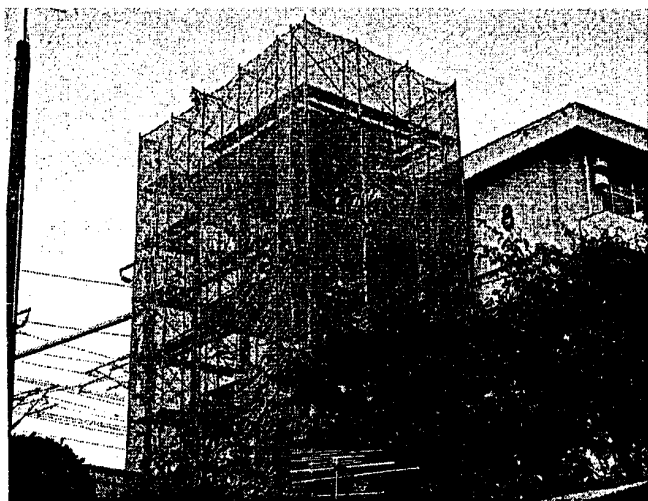
今年中に、皆さまの意見を盛り込んだ「基本計画」を策定し、「実施設計」を行い、来年度には工事着工の予定です。住民の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

交流ゾーン（河原町塩小路南東部）の計画

「風のまち」（41棟）の入居が始まる中、入居者の方々の旧住宅の跡地に予定されている、交流ゾーンの計画を進めています。この地域には、高齢者のための福祉施設・コミュニティセンター・診療所・消防分団器具庫の合築施設の建設を予定しています。この建物は、崇仁の方々だけでなく、他の地域の方々にも利用していただき、お年寄りから子どもたちまでが、交流し憩える場所として計画を進めています。今、どのような施設をこの中に配置していくことが一番いいか検討しています。その意見を早急にまとめ、来年度には「基本設計」「実施設計」を策定し、平成16年度には工事に着手する計画です。また、併せてこのブロックには、今後保育所、住宅の建設が予定されています。

南部ブロック（既存住宅の改善・建て替え）の計画

南部ブロックでは、東之町・西之町、屋形町、下之町西部の3つのブロックで、既存住宅の改善や建て替えの計画が進められています。

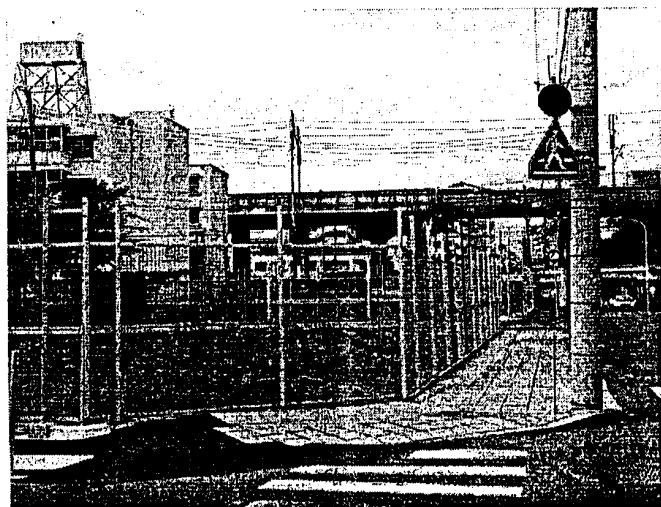


住棟改善の取組としては、8棟のエレベータ設置工事が7月から開始され、現在、鉄骨が組み上がるなど、来年2月の完成を目指し工事は順調に進んでいます。

【8棟エレベータ設置工事】

建て替えについては、最も古い住棟が存在する東之町・西之町ブロックの「新1棟の建替計画」を中心に検討しており、国に事業承認を得るため、現在、関係部署への説明や、承認に向けた手続きが行われています。承認後は、崇仁で最初の建替住宅となる新1棟の基本計画に着手し、住民の皆さまの意見を取り入れながら、来年3月を目途にまとめていくことになります。

来年度からは、屋形町ブロック、下之町西部ブロックの建替計画を順次進めるなど、いよいよ建て替えがスタートします。



【新1棟建設計画地】

高瀬川付け替え工事・崇仁ビオトープ完成

崇仁まちづくり推進委員会が最初に取り組み、工事が行われた高瀬川の流路が今年1月24日に変更され、旧流路の廃川処理が進みだした5月11日に、住民のみなさんとともに完成式典を行いました。



当日の式典には、国土交通省の住環境整備室からも出席をいただき、崇仁のまちづくりが住民みんなで行ってきたことに対して、市長から表彰をいただくとともに、今後のまちづくりに期待し、協力することの約束をいただきました。今後は、新しい高瀬川周辺の整備を行い、たくさんの人々が集まり、憩える川にしていきたいと思っています。

また、高瀬川の整備に伴い、小学校校庭を流れる川も整備しようと、1999年11月に「崇仁小学校ビオトープ会議」を発足させ、住民の皆さまとワークショップを行い、子どもたちの夢や意見を取り入れた「崇仁ビオトープ」づくりに取り組んできました。卒業式前の3月16日に完成し、子どもを中心とした完成式典を行いました。この「崇仁ビオトープ」には、1月12日から2月17日までの毎週土・日曜日に住民の皆さまに参加していただき、「てんぐ池」と命名された池を中心に、田や畑をつくりました。毎回、住民の方々、子どもたち、行政の方々がたくさん参加していただき、予定よりも大幅に早く完成しました。まさに、みんなで作り上げた「崇仁ビオトープ」です。

完成後も、池の崩れた石積の補修をしたり、5月29日には5年生の児童による田植えが行われました。その稲もたくさんの稲穂を付け、10月3日には稲刈りも行われました。

今後は、この「崇仁ビオトープ」を、小学校の教材として子どもたちの学習に利用していただくことはもちろんですが、崇仁の新しいシンボルとして、みんなで守り続けていきたいと思っています。

また、柳原銀行記念資料館では、第11回特別展として、地域の取組を紹介した「柳原銀行と崇仁ビオトープ」を9月末まで開催し、連日多くの方々が見学・研修に訪れられました。



崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発行日
2002.12.5
第35号(特別号)

『京都市崇仁まちづくり計画』推進懇談会を開催

現在、進めております崇仁のまちづくりは、まちづくり推進委員会が提案した内容をもとに、平成11年3月に京都市が策定した「京都市崇仁まちづくり計画」により進められています。整備が遅れている崇仁のまちの将来と住民が主役のまちづくりを委員会で取組みはじめてから6年、計画が策定されてから3年半が経過し、高瀬川の流路変更や楓のまち(41棟)の建設、ピオトープ整備等、初期に進めてきた事業が形となり、まちの様子も変わりつつありますが、まだまだ取り組んでいかなければならない課題が多く残されています。しかしながら、京都市において財政非常事態宣言が出され、計画を進めてきたこの短い年月の間だけでも若年層の流出や商店の閉店等の現象が確実に進んでおり、崇仁のまちづくりを取り巻く環境も確実に変わってきています。



【京都市崇仁まちづくり計画推進懇談会】

そこで、崇仁学区に係わっていただいている下京区選出の府議会議員、市会議員の皆様、まちづくり計画の進捗状況と課題を改めて説明し、まちづくりの重要性について理解を深めていただくとともに、事業の推進に助言と尽力をお願いするための「懇談会」を開催しました。

10月29日に開催した懇談会には、府議会からは小巻議員、市会からは西脇議員、今枝議員、井上議員、山中議員、伊藤議員の参加をいただき、

- ◆交流ゾーン(合築施設)の事業推進について
- ◆塩小路高倉ブロックの事業推進について
- ◆南部ブロックの建替え推進について
- ◆人口の減少等、崇仁学区が抱える課題について

等の現状と課題を説明させていただきました。

短時間の説明でありましたが、参加いただいた議員からは、

- ◆京都駅前の大きな商業圏の一部を形成している崇仁学区を活性化させることは重要である
- ◆教育の重要性とピオトープの取組みを評価し、知恵を絞った施策を進めていくことが重要である
- ◆崇仁学区に住民が戻れ、また子どもたちがのびのび育つ環境が必要であり、まちづくりを進めるには周辺学区の理解と交流が必要である
- ◆崇仁の取組みを評価し、周辺との交流や施設の開放がまちづくりの推進にも役立つこと。そして、崇仁だけでなく、下京区全体を引っ張るようなまちづくりを進めていくことが重要である
- ◆京都の玄関に位置する崇仁の事業の遅れは残念であり、皆で国にも働きかけ、住民の皆様とともに事業の早期完成を目指していかなければならない

等の助言や意見、励ましをいただきました。

参加いただいた議員の皆様は、崇仁学区のみならず下京区全体を、そして京都市・京都府全体を考えていただかなければならない立場でおられますが、崇仁のまちづくりの進展が京都市全体のまちづくり、都市基盤の拡充に大きく寄与するものであることを訴え、協力と理解をお願いしました。

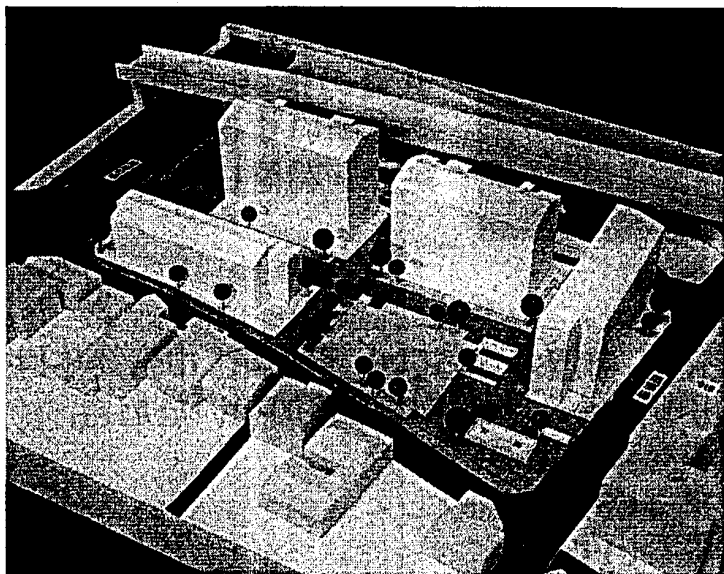
『南部(東之町・西之町、屋形町)建替計画』が承認される

南部の東之町・西之町、屋形町、下之町西部の3つのブロックでは、既存住宅の改善や建替えの検討を進めてきましたが、京都市では今年度、建築年次の古い東之町・西之町と屋形町の2つのブロックについて、建替計画の事業承認を国に申請していたところです。この建替計画が、10月29日に国

土交通省で承認されたことの通知が11月18日付で府から届きました。

今後は、崇仁で最初の建替住宅となる東之町・西之町ブロックの新1棟の基本計画策定に着手するなど、事業の具体化を計っていくことになります。

事業の推進には、何よりも皆様の理解と協力が必要です。安心して住み続けられる住宅、崇仁のまちを目指して、ご協力をお願いいたします。



【東之町・西之町ブロックの建替計画イメージ模型】

崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発行日
2003. 8. 29
第 3 6 号

【進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪】

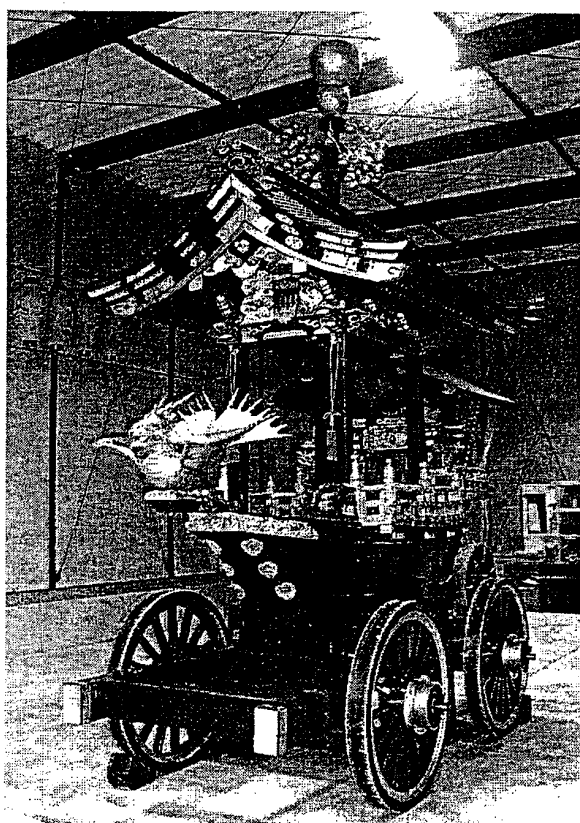
崇仁まちづくり推進委員会が7周年を迎えました

日頃は、崇仁地区のまちづくりにご協力いただきありがとうございます。

さて、崇仁まちづくり推進委員会の結成から7年が経過しました。これまでの取り組みの成果として、高瀬川の流路変更や楓のまち（41棟）の建設、ビオトープの整備等、目に見える形で崇仁のまちは変化してきています。また近況では、塩小路高倉ブロックの基本計画につづき、南部建て替えの新1棟基本計画の完成、41棟ブロック独立店舗棟新築工事の決定等、事業は着々と進んでおります。

さて、今年度はまちづくり計画の見直しという大きな課題があります。当会では8年目の決意を新たに、皆様の貴重なご意見を聞きながら、京都市とのパートナーシップのもとに進めていきたいと考えております。住民が主役である崇仁のまちづくりを進めていくために、たくさんの方々のよりいっそうのご協力をお願いいたします。

碇組（いかりぐみ）船鉾が落成しました！



以前から復元を進めてまいりました、碇組の船鉾が落成しました。崇仁学区の鉾としましては、西浜組船鉾、巽組曳山に続き3基目となります。

先日の崇仁夏まつりでは、新日吉神宮の御祓いと崇仁御囃子会の演奏により、落成式が盛大に行われました。現在は、河原町塩小路下ル西側の鉾保管庫に収納されております。

この船鉾もこれまでの2基と同様に、崇仁のまちの大きな財産として未来の世代へと受け継いで行きたいと思っております。復元にご協力いただきました皆様にはあらためて御礼申し上げます。

また崇仁コミュニティセンターの玄関口に、山田政博氏寄贈の碇組船鉾の模型も展示しておりますので是非ご覧下さい。

塩小路高倉ブロック市営住宅の基本計画がまとまりました！

まちづくり推進委員会では、小稲荷町と郷之町西部と上之町にお住まいの皆さんと、塩小路高倉ブロックのまちづくりについて取り組んできました。平成 14 年 8 月の第 1 回作業部会を始まりに、「作業部会（18 回）」「まち歩き」「意見交換会（3 回：住戸見学会を含む）」「地区住民を対象にしたアンケート調査」「文化祭での中間報告」などを実施し、検討を重ねることにより、住民が中心の市営住宅の基本計画を完成させ、平成 15 年 1 月 29 日に第三福祉センターにおいて報告会を行いました。現在は、実施設計の最終段階を迎え、平成 16 年 2 月に建設着工し、平成 17 年 10 月に竣工する予定です。



◎塩小路高倉の基本計画の概要

建設予定地

京都市下京区小稲荷町 79 番 3 他（塩小路通り高倉北東角）

計画の概要

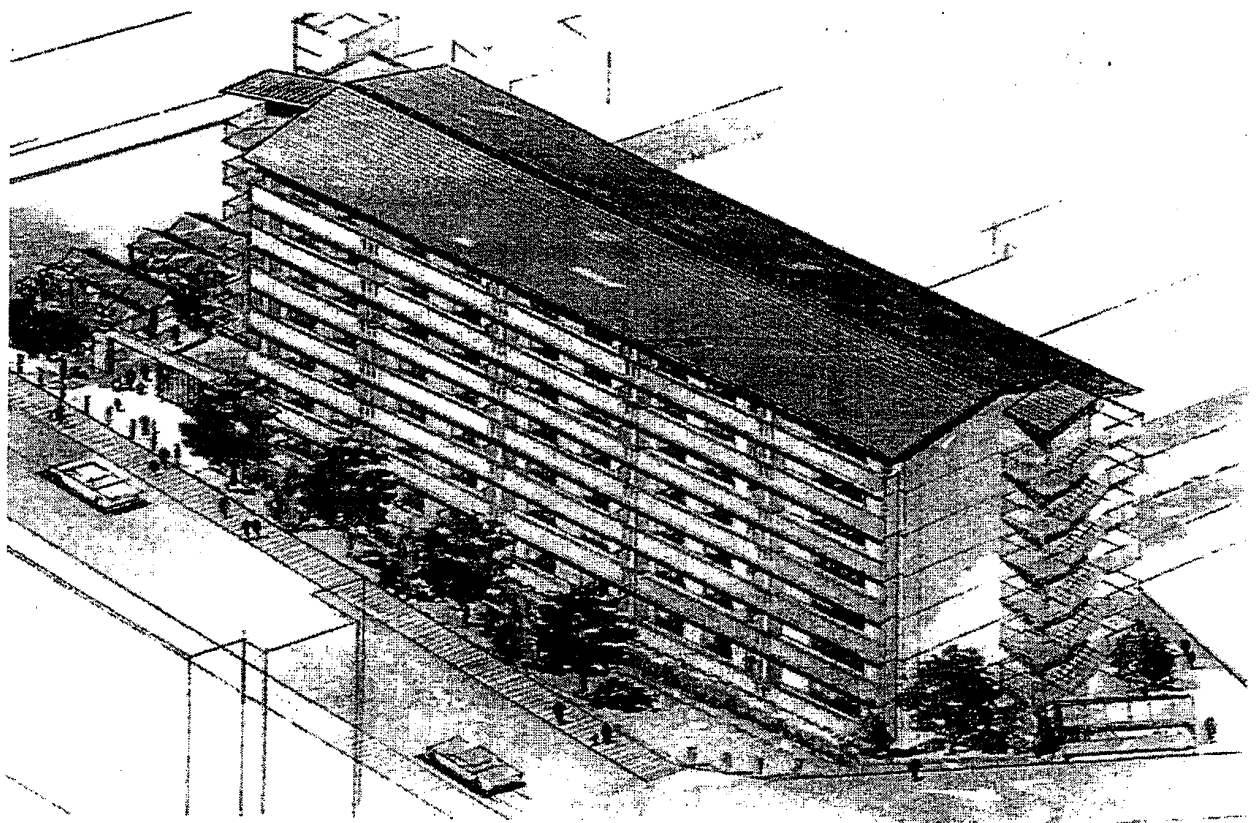
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

階数：10 階建 54 戸 店舗 5 戸（1 階）

*崇仁コミュニティセンターの玄関口に、塩小路高倉ブロックと東之町・西之町ブロック新 1 棟（仮称）のこれまでの取り組み等を詳しく説明したパネルや、様々なタイプの間取りの模型を展示していますので、是非ご覧ください。

東之町・西之町ブロック新1棟(仮称)基本計画がまとまりました！

まちづくり推進委員会では、2・3棟にお住まいの皆さんと、崇仁で初めての建て替えとなる「東之町・西之町ブロック新1棟(仮称)」の基本計画づくりを今年の1月から進めてきました。意見交換会や住戸見学会では、毎回多数のご参加をいただくとともに、数多くの貴重なご意見も賜りました。これらの取り組みの集大成として、「東之町・西之町ブロック新1棟(仮称)」の基本計画がまとまり、平成15年5月20日に第一福祉センターにおいて報告会を行いました。今後は、平成15年度中に実施設計を行い、平成16年度上期に建設着工し、平成17年度に竣工する予定です。



◎新1棟の基本計画の概要

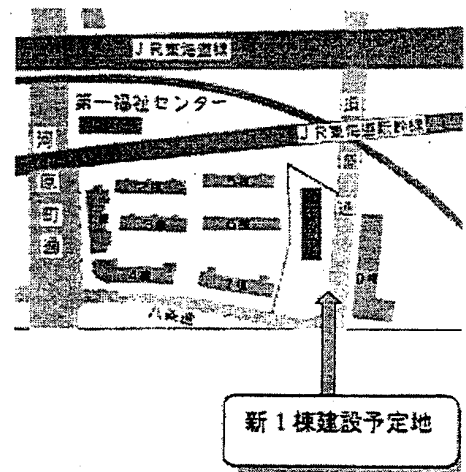
建設予定地

京都市下京区東之町17他(八条通り須原上ル西側)

計画の概要

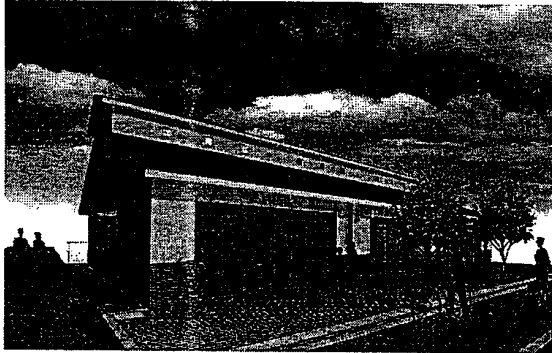
構造：鉄筋コンクリート造

階数：7階建 35戸



独立店舗棟の工事が始まります！

41 棟ブロック内の北部（楓のまちの北側）に建設を予定している，独立店舗棟の新築工事が 9 月から開始されます。竣工は来年 3 月末の予定です。まちづくり推進委員会では，今後も崇仁のまちがますます活性していくような事業を実現していきます。



◎41 棟ブロック独立店舗棟新築工事の概要

建設予定地

京都市下京区下之町 1 の 1

工事の概要

構造：鉄筋コンクリート造 平屋建（3 店舗）

工期：平成 15 年 9 月 1 日～

16 年 3 月 31 日まで（予定）

第 7 回崇仁夏まつりのご報告

平成 15 年 8 月 9 日（土）に第 7 回崇仁夏まつりが実施されました。高瀬川では，子供による金魚とり遊びが行われました。また，崇仁小学校校庭では，碇組船鉾落成式や防火のタベ，どんどこ太鼓，カラオケ大会，盆踊り，模擬店等が実施され大変に盛り上がりました。会場には多数の方のご参加をいただきありがとうございました。

◎今後の崇仁学区の主な予定◎

事業名	開催日	開催場所
第 3 回崇仁敬老のつどい	9 月 14 日（日）	崇仁屋内体育施設
第 25 回崇仁大運動会	9 月 28 日（日）	崇仁小学校校庭
第 10 回崇仁文化祭	11 月 1 日（土）	崇仁屋内体育施設

◎まちづくり推進委員会の過去 1 年間の主な取り組み◎

（平成 14 年 7 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）

会議名	開催回数
幹事会会議	11 回
事務局会議	21 回
委員会	3 回
交流ゾーン部会	2 回
東之町・西之町ブロック部会	12 回
塩小路高倉部会	18 回

崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発行日
2004. 1. 22
第 3 7 号

【進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪】

新年明けましておめでとうございます。

崇仁まちづくり推進委員会も発足から早8年目となりました。北部の残事業を何とかしようとスタートした委員会ですが、既存住宅の老朽化をはじめ崇仁学区が抱えていた様々な課題も検討し、「住民主体のまちづくり」を進めてきました。高瀬川の流路変更、楓のまちの建設、ビオトープの整備等が進みながらも、先の見えない事業の進展に苛立ちを感じたことも多くあります。しかし、去年は実現に向けて大きく進展した年です。

いよいよ今年の2月には塩小路高倉の新棟建設が着工し、東之町・西之町の建て替え住宅も初夏には着工します。屋形町の建て替えや下之町西部の住棟整備も着実に進み、昨年までの努力が実を結ぼうとしています。

しかしながら、安心して住み続けられるまち、活力のあるまちを取り戻すには、取り組まなければならない課題が多くあり、その推進には更なる努力が必要です。昨年末、「住民によるまちづくり」がKBS京都の番組に取り上げられました。これからのまちづくりには、一層多くの方々のご理解とご協力が不可欠であることを痛感しています。

今年は、委員会で設立したNPOも積極的に活動し、市民・府民の皆様に理解していただきやすい形で進めるなど、まちづくりの推進に全力で取り組んでまいりますので、住民の皆様、関係各位の皆様のご協力をお願い申し上げます。

会長 奥田 正治

優秀賞を受賞しました！

第2回景観・まちづくりコンクールの授賞式が、平成15年12月14日(日)にひと・まち交流館京都で開催され、崇仁まちづくり推進委員会が応募していました

「崇仁小学校におけるビオトープづくり」が、景観・まちづくり部門において優秀賞を受賞いたしました。

コンクールに応募された全82作品の中から、崇仁のまちづくりの取り組みが表彰されたことは誠に光栄であり、今後の取り組みへの活力となるものです。

今後も、みんなが主役のまちづくりを目指して、創意工夫しながら取り組んでいきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



「交流ゾーン合築施設」のワークショップが始まります

交流ゾーン部会（部会長：山内 政夫）

塩小路河原町南東角に建設が予定されている「交流ゾーン合築施設」の基本設計が始まりました。

この合築施設には、老人デイサービスセンターや在宅介護支援センター、コミュニティセンター、福祉センター、健康づくりコーナー、診療所、消防分団器具庫の設置が予定されており、崇仁のまちにとって交流と福祉の拠点施設となると共に、住民生活に大きく関わる施設でもあります。

今後は、第1回ワークショップを次のとおり開催し、住民皆様の貴重なご意見を聞きながら、住民と京都市との間で十分協議を行い、基本設計の策定に向けて取り組んでいきます。是非、ワークショップにご参加ください。

「交流ゾーン合築施設」第1回ワークショップ

日 時 平成16年2月2日(月) 19時から

場 所 崇仁コミュニティセンター講堂

内 容 ①交流ロビーのイメージについて
②導入施設の配置について



各ブロック部会ではこんな取り組みをしています

小稲荷町・郷之町西部他部会（部会長：竹口 等）

塩小路高倉北東角に建設される塩小路高倉第1棟（仮称）が、いよいよ平成16年2月に着工されます。

部会では、平成15年11月には「入居に関する意識調査アンケート」を実施しました。12月にはアンケートの集計結果を住民の皆様に報告するとともに、要望や疑問などを自由に述べていただくための意見交換会を開催しました。

現在は、平成17年度後期の入居に向けての具体的な意向確認が一日も早く実施されるよう京都市と話し合いを進めています。



意見交換会の様子

東之町・西之町ブロック部会（部会長：福田 健一）

崇仁で初めての建て替え住宅となる新1棟（仮称）の実施設計が、完成に向けて最終段階に入っています。この実施設計には、これまでの意見交換会などで住民の皆様から出された意見をもとに、憩いのスペースとして「まちかど広場」を建設予定地の南側に整備する案などが折り込まれています。平成16年2月には実施設計報告会を行い、初夏の建設着工を目指して作業が進められます。

下之町西部ブロック部会（部会長：松井 勇）

まちづくり推進委員会では、下之町西部ブロックの市営住宅へのエレベーター設置を京都市に要望してきましたが、このたび、24棟にエレベーターが設置される運びとなりました。

既に平成15年12月には現地の地質調査を終え、現在は実施設計が進められています。予定では、平成16年夏頃に工事が着工され、平成17年3月には完成する見込みです。

まちづくり推進委員会としましては、引き続き27棟へのエレベーターの早期設置に向けて住民の声を強く京都市に訴えていきます。

また、建て替えについては、現在見直し中の北部第三・第四地区の事業計画の中で、建設用地や建て替え手法を含めて検討を進めています。

屋形町ブロック部会（部会長：米戸 繁行）

11棟～13棟を対象とした、建て替えのための基本計画の策定作業が平成15年10月から開始されました。屋形町の建て替えは、現地での建て替えとなるため、各戸にどのようなすまいを希望しているかについてのアンケートの実施を始め、12月には、41棟の住戸見学会と意見交換会を開催し、実際の住戸や集会室を見学して間取りや設備などについて意見を交わしました。

引き続き、意見交換会や部会を開催し、住棟配置や間取り、共用空間などの検討を進め、基本計画の策定に向けて取り組んでいきます。



意見交換会の様子

KBS で放送されました

平成 15 年 11 月 23 日(日)に放送された KBS 京都の討論番組である「どうする京都 21」で、崇仁学区のまちづくりがテーマとして取り上げられました。

生放送の番組内には、まちづくり推進委員会からも 2 名が参加し、これまでの活動の様子も録画放送され、崇仁の新たな未来への展開について、FAX やインターネットを活用し、視聴者を巻き込んだ形で討論が行われました。

今回の番組には、「特定非営利活動法人(NPO) 崇仁まちづくりの会」として出演しましたが、それは、新たな展開を目指して、国の「都市再生モデル調査」に応募している関係によるものです。「崇仁まちづくりの会」は、崇仁まちづくり推進委員会と一体となってまちづくりを推進するために、平成 14 年から活動しています。

この番組の放送によって、私たちが一生懸命に取り組んでいる崇仁のまちづくりが、より一層京都市民の皆様の理解と協力を得られる機会となったと感じています。崇仁のまちづくりは学区内の事柄だけでは完成しません。積極的に情報発信を行い、関係機関や有識者の皆様の意見や協力を得ながら、住民が主役のまちづくりを進めていきたいと考えています。

NHK で放送されます！！



崇仁学区の防災活動について、これまでの 8 年間にわたる私たちの熱心な防災活動への取り組みが高く評価された結果、NHK から要請があり取材を受けることとなりました。この取材は、私たちにとっても「防災意識の喚起」と「崇仁のまちづくりの PR」となる大変意義のあるものだと考えています。平成 16 年 1 月 7 日(水)には取材を兼ねて、臨時に防火合同パトロールを実施いたしました。取材当日は、タレントの清水 圭さんがインタビュアーとして訪問され、私たちの防災の取り組みについて熱心に耳を傾けておられました。

これまでの 8 年間の取り組みを振り返り、また、気持ちを新たに今後も防災活動に取り組んでいくすばらしい機会となりますので、放送を是非ご覧ください。

日 時 平成 16 年 2 月 12 日(木) 21 時 15 分～

チャンネル NHK 総合 「難問解決！ご近所の底力」

崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発行日
2004. 5. 28
第 3 8 号

【進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪】

日頃は、崇仁地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

崇仁まちづくり推進委員会は 1996 年の発足から、今年の 7 月で 9 年目を迎えます。この間に、「崇仁まちづくり計画構想の提案」をはじめ、「柳原銀行の移転」、「船鉾や曳山の復元とまつりの再開」、「楓のまち（市営住宅 41 棟）の完成」、「住民の手によるピオトープの整備」、「高瀬川の流路変更」、「NPO 法人（特定非営利活動法人）崇仁まちづくりの会の発足」、「塩小路高倉第 1 棟（仮称）の着工」、「41 棟ブロックの独立店舗棟の竣工」等、京都市とのパートナーシップにより、数多くの事業が目に見える形で進んでまいりました。

また、昨年からは「まちづくり計画の見直し」や「都市再生モデル調査」、「交流ゾーン合築施設」等、住民の皆様の生活にますます貢献できる計画と施設の検討を進めております。

さらに、KBS 京都「どうする京都 21」や NHK「難問解決！ご近所の底力」で、私たちの住民による活動が取り上げられ、京都市民の皆様のご理解ご支援の声とともに、産業界や学会等のあらゆる方面からご支援ご指導の声も届いており、住民を中心とする市民の皆様のさらなる期待に応えていくためにも、より一層の努力を決意しております。

今年度も、まちづくり推進委員会とともに、委員会で設立した NPO も積極的にまちづくり活動に取り組み、市民・府民の皆様に理解していただきやすい形で進める等、まちづくりの推進に全力で取り組んでまいりますので、住民の皆様、関係各位の皆様のご協力をお願い申し上げます。

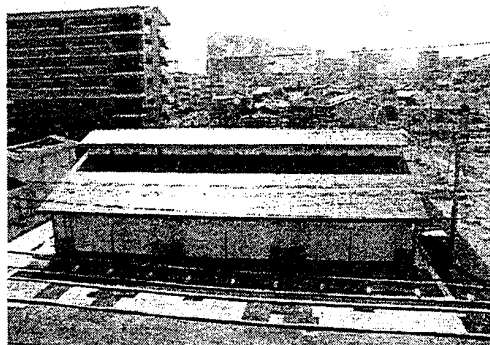
会長 奥田 正治

独立店舗棟が完成しました！

41 棟ブロック内の北部（楓のまちの北側）に、2003 年 9 月から建設が進められていました、独立店舗棟が 3 月に完成いたしました。

この独立店舗棟は、鉄筋コンクリート造の平屋建て、86㎡の店舗が 3 件の店舗だけの建物です。

独立店舗棟の完成によって、41 棟 1 階店舗と合わせて、須原通のにぎわいの創出が期待されています。



独立店舗棟（屋内体育施設から望む）

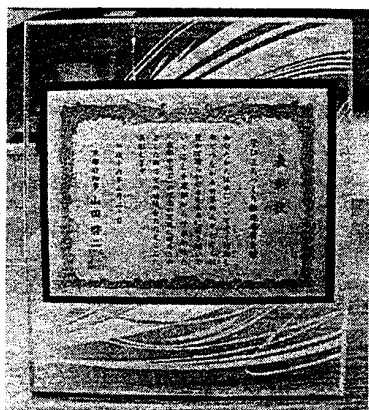
注目のまと！「ビオトープ」

京都府が制定した『京都水宣言記念・京都水づくり賞』に、崇仁まちづくり推進委員会の取組みが選ばれ、授賞式が3月20日(土)にハートピア京都で開催されました。

この受賞は、地域住民と小学生が小学校内にビオトープを作る等、水に係る環境教育・啓発を中心としたまちづくりを通して、水環境の保全・創造と水に関する府民の関心の喚起に大きく貢献したことが評価されたものです。

私たちのまちの宝であるビオトープは、昨年12月の『第2回景観・まちづくりコンクール優秀賞』に続いての受賞で、住民主体のまちづくりのシンボルとして、大きな注目を集めています。

なお、受賞記念の盾は崇仁屋内体育施設の3階会議室の展示ケースに展示しています。



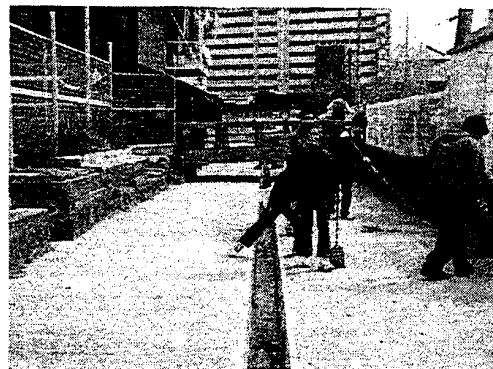
受賞記念の盾

みんなの手でまちをキレイに！！

『高瀬川クリーン大作戦』がはじまりました。この活動は、自治連合会とNPO法人崇仁まちづくりの会による、毎月第1土曜日の高瀬川の廃川跡を中心としたまちの美化活動です。4月3日(土)には、崇仁小学校の児童も参加し、総勢27名で活動を行いました。

まちの美化活動は、住みやすく美しいまちの創造とともに、地域住民の顔が見える「人と人のつながり」を実感できる大変に意義のある活動です。

大勢の参加者で和気あいあいとした活動を続けていくためにも、ご近所・ご友人とお誘い合わせのうえ、多くの方のご参加をお待ちしています。



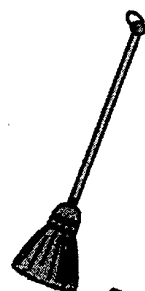
活動の様子

◆次回のご案内◆

日 時 平成16年6月5日(土) 午前11時～12時

集合場所 崇仁コミュニティセンター前

※ゴミ袋や火バサミ、手袋等の道具は用意していますので手ぶらでご参加ください。



崇仁学区がモデル調査地区に選ばれています

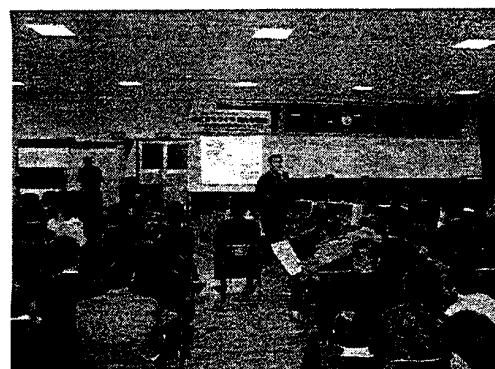
NPO 法人崇仁まちづくりの会（以下 NPO）が応募していました全国都市再生モデル調査について、崇仁学区が調査地区に選ばれました。この調査は、「地域が自ら考え自ら行動する」活動を、内閣総理大臣を本部長とする「内閣官房都市再生本部」が支援する制度です。

国から調査を受託した都市居住文化研究所は、リム・ボン立命館大学教授の協力を得て、昨年末から調査を開始されました。調査の一環として、「崇仁まちづくり新たな挑戦」をテーマにフォーラムを開催、『21 世紀型多文化交流のまち崇仁～5 つ星計画～』が提案され、崇仁のまちづくりの新たな展開について検討が進められています。

	調査内容	フォーラム	パネリスト
★1 つ星	住環境整備	第 1 回(2 月 26 日)	北條 誠（都市居住文化研究所）
★2 つ星	保健・医療・福祉		美留町 利朗（地域計画医療研究所）
★3 つ星	環境	第 2 回(4 月 27 日)	吉村 元男（鳥取環境大学教授）
★4 つ星	商業・業務	第 3 回(6 月 2 日)	宗田 好史（京都府立大学助教授）
★5 つ星	人権・教育		山内 政夫（柳原銀行記念資料館事務局長）

今後は、都市居住文化研究所により、6 月をめどにフォーラムや会議の意見を参考にした調査結果がまとめられ、内閣官房都市再生本部に提出されます。

また、NPO が都市再生モデル調査に取り組む一方で、まちづくり推進委員会では、京都市とともに「崇仁まちづくり計画の見直し」についても検討を進めています。NPO と崇仁まちづくり推進委員会では、両案の長所と計画の進み具合を考慮しながら、崇仁のまちが活気あふれるまちとして、一日でも早く実現していくよう、京都市とともに取り組んでいきます。



第 1 回フォーラムの様子

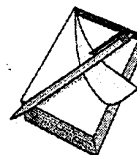
NPO とは？

ノン プロフィット オーガニゼーション

NPO（Non-Profit Organization）法人とは、特定非営利活動法人の略称で、社会の様々な問題（まちづくり・福祉・環境・教育など）に対して、「何とかしよう！」「より良くしよう！」と自発的・主体的に取り組む、法人化された民間の非営利組織・団体のことです。

また、NPO 法人は利益や利潤を目的としている企業とは異なり、公益や非営利的な目的を持って活動を展開しています。

NPO 法人『崇仁まちづくりの会』は、まちづくり推進委員会の意向を踏まえて設立し、2002 年 7 月 15 日に特定非営利活動促進法に基づく京都府知事の認証を受け、活動しています。



各ブロック部会の取り組みについて

小稲荷町・郷之町西部他部会（部会長：竹口 等）

塩小路高倉北東角の塩小路高倉第1棟（仮称）の建設が2月に着工し、2005年11月に竣工する予定です。着工に先立ち2月14日（土）に、地鎮祭と起工式を行いました。また、3月には、京都市による入居に向けての相談会と申込会が行われました。

今後は、第1棟（仮称）への公正でスムーズな入居への取り組みとともに、第2棟（仮称）の一日も早いスタートに向けて取組んでいきます。



起工式の様子

東之町・西之町ブロック部会（部会長：福田 健一）

崇仁で初めての建替え住宅となる新1棟（仮称）が6月～7月頃に着工し、2005年11月頃に竣工する予定です。2月には、第1福祉センターで実施設計報告会を行いました。この実施設計には、これまでの意見交換会等で住民の皆様から出された意見をもとに計画された、憩いのスペースである「崇仁坊ひろば（仮称）」の整備が織り込まれています。

屋形町ブロック部会（部会長：米戸 繁行）

11棟～13棟を対象とした、建替えのための基本計画の策定作業を2003年10月から開始し、部会や意見交換会、住戸見学会、アンケート調査を行うことによって、住棟配置や間取り、共用空間等についての検討を進め、6月の完成を目指して取組んでいます。

屋形町での建替えは現地での建替えとなるため、仮移転などの課題もありますが、住民の皆様の熱意によって計画は着々と進んでおります。

下之町西部ブロック部会（部会長：松井 勇）

24棟北側に計画されているエレベーターの工事が6月～7月頃に着工し、2005年3月頃に利用開始となる予定です。3月には京都市住宅室による計画説明会が行われ、計画の内容や自転車置き場の移設の説明がありました。

今後も引き続き、27棟へのエレベーターの早期設置に向けて住民の声を京都市に強く訴えるとともに、住宅の建替えについて、まちづくり計画の見直しの中で建設用地や建替え手法を含めて検討を進めています。

◎今後の崇仁学区の主な予定◎

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
第 8 回崇仁夏まつり	8 月 7 日（土）	崇仁小学校校庭、高瀬川
第 26 回崇仁大運動会	9 月 26 日（日）	崇仁小学校校庭
第 11 回崇仁文化祭	11 月 20 日（土）	崇仁屋内体育施設

崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

【進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪】

発行日
2004. 8. 24
第 3 9 号

9年目を迎えました

日頃は、崇仁のまちづくりにご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

崇仁まちづくり推進委員会は、今年の7月で満8周年を迎え、9年目がスタートしました。8月2日には「8周年記念のつどい」を開催し、過去8年間に崇仁のまちづくりに携わられた行政の方々等にも参加していただき、これまでに実現した事業と当時の様々な苦労を振り返るとともに、今後のまちづくりに対して温かいご支援の声をいただきました。

また、8月7日には崇仁まつり運営委員会による第8回崇仁夏まつりが崇仁小学校で開催され、数多くの住民の皆様をはじめ、下京区選出議員の方々や周辺の住民の方々からもまちづくりへの励ましの声をいただきました。

崇仁まちづくり推進委員会では、委員会、幹事会、事務局会議の中で、昨年「まちづくり計画の見直し」や「都市再生モデル調査」の取組みを開始し、今日の地域状況に沿ったまちづくりを一日も早く実現するための計画と事業手法を検討しています。今後は、ブロックごとの事業計画の作成等、住民の皆様により身近なまちづくりを進めてまいりますので、意見交換会やワークショップ等、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

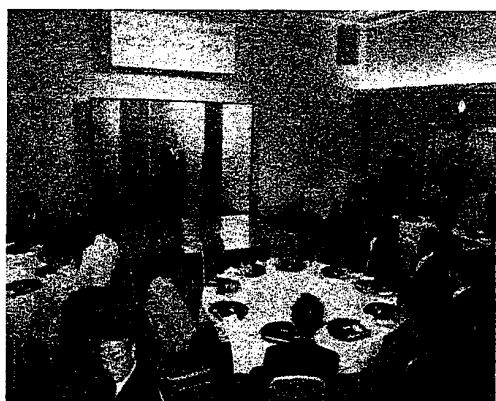
そして、計画の実現には京都市の予算確保が不可欠です。まちづくり推進委員会としましても、市営住宅の新築と建替え、中層市営住宅へのエレベーターの設置、福祉施設や店舗等の商業施設といった生活基盤整備の早期実現について、京都市に引き続き強く要望していきます。

高齢化、少子化が進む中、住民の皆様が安心、安全、快適に暮らせるまちづくりに、京都市とのパートナーシップのもと、全力で取り組んでまいりますので、住民の皆様、関係各位の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

会長 奥田 正治



委員会の様子（4月22日）

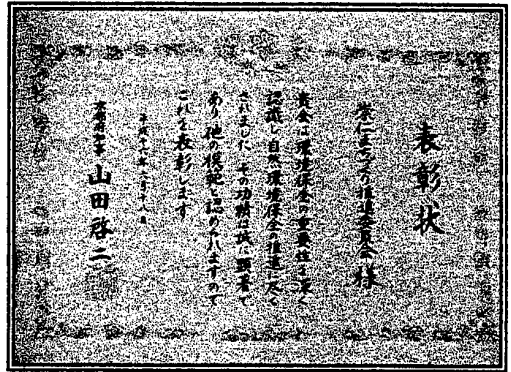


8周年記念のつどいの様子

環境保全功労者表彰を受賞しました

崇仁小学校内のビオトープや高瀬川や鴨川の環境整備が評価され、『平成 16 年度京都府環境保全功労者』として京都府から表彰を受けました。6 月 18 日には京都府立府民ホールで授賞式が行われました。

崇仁での環境や水に関する取組みは、昨年 12 月の『第 2 回景観・まちづくりコンクール優秀賞』、今年 3 月の『京都水づくり賞』と連続しての受賞です。表彰状は崇仁屋内体育施設 3 階会議室に展示しています。



表彰状の写真

各ブロック部会の取り組みについて

小稲荷町・郷之町西部他部会（部会長：竹口 等）

2005 年 11 月に竣工予定の塩小路高倉第 1 棟（仮称）の建設が順調に進められており、部会としては公正でスムーズな入居をはかるため入居希望者の調査などを順次進めていきます。また、店舗・駐車場の確保についても、昨年から取り組んでいる「まちづくり計画の見直し」の中で検討しています。

そして、第 2 棟（仮称）についても早期実現に向けてスタートできるよう京都市に訴えていきます。

東之町・西之町ブロック部会（部会長：福田 健一）

八条須原北西角の南部新 1 棟（仮称）の建設が 7 月に着工され、2005 年 12 月に竣工する予定です。着工に先立ち 7 月 15 日に、地鎮祭と起工式がとり行われました。南部新 1 棟（仮称）は、2 棟と 3 棟の住民の方を対象とした崇仁で初めての建替え住宅です。

今後は、名称等の検討を順次進めていきます。



起工式の様子

下之町西部ブロック部会（部会長：松井 勇）

24 棟北側に計画されているエレベーターの工事が 7 月に着工され、2005 年 3 月頃に利用開始となる予定です。工事に先だち 7 月 13 日に京都市住宅室による工事説明会が行われました。

今後も引き続き、27 棟へのエレベーターの早期設置を京都市に強く訴えけるとともに、住宅の建替えについても検討していきます。

屋形町ブロック部会（部会長：米戸 繁行）

昨年10月から進めていました11棟～13棟が対象の建替えの基本計画（案）が6月にまとめ、6月8日に第4福祉センターで基本計画（案）報告会を行いました。

これまでの意見交換会や住戸見学会には毎回多数のご参加をいただくとともに、数多くの貴重なご意見をいただきました。

今後は、来年度の着工に向けて、今年度中に実施設計をまとめることができるように取組んでいきます。

また、屋形町での建替えは現地での建替えとなるため、仮移転が必要となりますので、皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



外観イメージ図（南東から望む）

◆屋形町建替え住宅の基本計画（案）の概要

建設予定地

京都市下京区屋形町17番地 他（現地建替え）

計画の概要

構 造：鉄筋コンクリート造

階 数：6階建（一部5階建）

戸 数：50戸（3LDK：41戸、2LDK：9戸）

方向性：多様な世代・世帯が集えるまちづくり

地域住民との触れ合いのあるまちづくり

鴨川などの周辺環境を生かしたまちづくり

みんなの手でまちをキレイに！！

NPO 法人崇仁まちづくりの会では、自治連合会と共催で『高瀬川クリーン大作戦』に取り組んでいます。この活動は、毎月第 1 土曜日に高瀬川の廃川跡を中心にまちの美化活動を行っています。6 月 5 日(土)には、崇仁小学校の児童も参加し、廃川跡をはじめ、41 棟西側の高瀬川、ビオトープを約 50 名で掃除しました。

今後も、子どもたちや地域住民の方たちとコミュニケーションをとりながら、和気あいあいとした活動を末永く続けていくためにも、ご近所・ご友人とお誘い合わせのうえ、多くの方のご参加をお待ちしています。



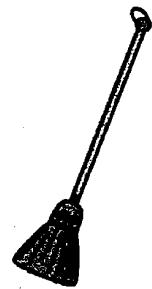
活動の様子

◆『高瀬川クリーン大作戦』9月のご案内◆

日 時 平成 16 年 9 月 4 日(土) 午前 11 時～12 時

集合場所 崇仁コミュニティセンター前

※ゴミ袋や火バサミ、手袋等の道具は用意していますので手ぶらでお気軽にご参加ください。



《まちづくり推進委員会の歩み》

年	月	事業概要
1996 年	7 月	「崇仁まちづくり推進委員会」が発足
1997 年	11 月	「崇仁まちづくり計画構想」を提案
	〃	「柳原銀行記念資料館運営協議会」が発足
1998 年	4 月	「西濱組船鉾」を復元し、まつりを再開
2001 年	11 月	「楓のまち(市営住宅 41 棟)」が完成
2002 年	3 月	住民の手による「ビオトープ」が完成
	5 月	「高瀬川」の流路変更
	7 月	「特定非営利活動法人崇仁まちづくりの会」が設立・認証
2004 年	2 月	塩小路高倉の「塩小路高倉第 1 棟(仮称)」が着工
	3 月	「楓のまち独立店舗棟」が完成
	7 月	八条須原の「南部新 1 棟(仮称)」が着工

◎今後の崇仁学区の主な予定◎

行事名	開催日	開催場所
第 4 回 崇仁敬老のつどい	9 月 12 日(日)	崇仁屋内体育施設 3 階アリーナ
第 26 回 崇仁大運動会	9 月 26 日(日)	崇仁小学校校庭
第 11 回 崇仁文化祭	11 月 20 日(土)	崇仁屋内体育施設 3 階アリーナ

崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発行日
2005. 1. 24
第 4 0 号

【進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪】

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

日頃は、崇仁のまちづくりにご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

崇仁まちづくり推進委員会の活動は早 9 年目に入りました。昨年は、塩小路高倉第 1 棟（仮称）の建設着工をはじめとする北部の事業や、崇仁で初めての建替住宅である南部新 1 棟（仮称）の建設着工、屋形町での建替え基本計画の策定、下之町西部 24 棟へのエレベーターの設置工事の着工といった南部の事業など、みんなが主役の崇仁のまちづくりが、目に見える形で大きく進んだ年でした。

このような成果をあげるには、住民皆様の積極的なまちづくりへのご参加と、崇仁まちづくり推進委員会へのご理解と、京都市とのパートナーシップが不可欠だったと確信しております。

今年も、交流ゾーン合築施設の計画や、各ブロックでの取組み、公的施設の誘致など、取り組むべき大きな課題がたくさんあります。

高齢化、少子化が進む中、住民の皆様が安心、安全、快適に暮らせるまちづくりに、京都市とのパートナーシップのもと、全力で取り組んでまいりますので、住民の皆様、関係各位の皆様のいっそうのご理解とご協力をお願い申し上げます。

会長 奥田 正治

国道工事（河原町通）が順調に進んでいます

国土交通省による河原町通（塩小路～八条通間）の拡幅工事は、平成 19 年度の竣工に向けて順調に工事が進んでいます。

この工事は、JR高架下を含め片側 2 車線に拡幅するとともに高さを 4.5m とすることで、高倉通をはじめとする周辺の交通渋滞を解消するための工事です。

一昨年 11 月には、皆山中学校の生徒が地下の工事現場の見学などを行いました。

崇仁まちづくり推進委員会としましても、河原町通のにぎわいの創出や、歩道橋の整備など、住民の皆様の生活がより良い環境になるよう国土交通省と協議していきます。

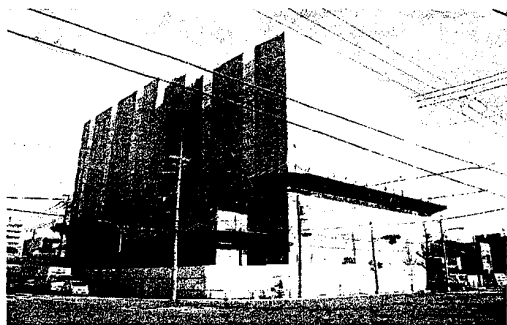


見学の様子

各ブロック部会の取り組みについて

小稲荷町・郷之町西部他部会（部会長：竹口 等）

昨年 2 月に着工された塩小路高倉 1 棟（仮称）の建設工事は、11 月の竣工に向け順調に進められています。現在は鉄骨の骨組み工事が終わり、内装工事が順次進められています。



工事の状況（南西から望む）



外観イメージ図（南西から望む）

◆基本計画の概要

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造 階 数：10 階建 戸 数：54 戸 店舗 5 戸（1 階）

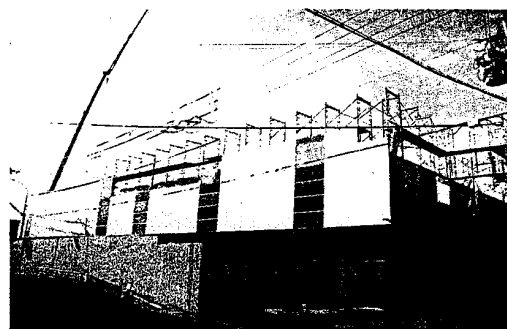
東之町・西之町ブロック部会（部会長：福田 健一）

崇仁学区で初めての市営住宅の建替えとして、昨年 7 月に着工された八条須原北西角の南部新 1 棟（仮称）の建設工事が、12 月の竣工に向けて現在も着実に進められています。

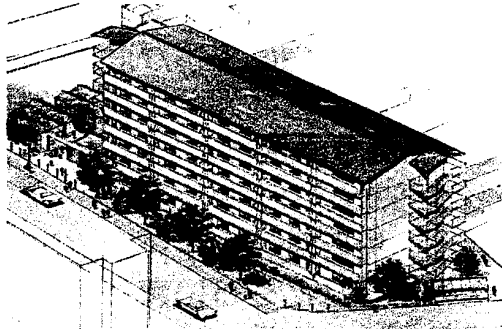
南部新 1 棟（仮称）の南側には、41 棟での「楓」のような「シンボルツリー」を植えるとともに、「崇仁坊ひろば（仮称）」が計画されており、居住者や来訪者をあたたかく迎え、いつまでも親しまれる憩いのスペースが整備されます。

また、崇仁まちづくり推進委員会では、新しく生まれ変わっていく東之町・西之町ブロックにふさわしい「まちの愛称」を検討していきます。

今後、アンケート等により住民の皆様のご意見を聞きながら、「シンボルツリー」や「まちの愛称」を検討していきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



工事の状況（北東から望む）



外観イメージ図（北東から望む）

◆基本計画の概要

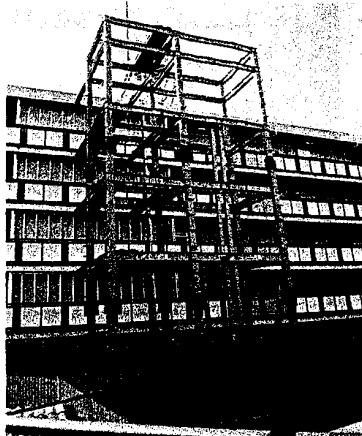
構 造：鉄筋コンクリート造 階 数：7 階建 戸 数：35 戸

下之町西部ブロック部会（部会長：松井 勇）

崇仁まちづくり推進委員会では、住民の高齢化が進んでいることから、エレベーターの早期設置を京都市に要望してきました。

その成果もあり実現に至った 24 棟のエレベーター設置工事は、昨年7月に着工され、工事は順調に進み、現在は鉄骨が建ち上がっています。エレベーターの利用開始時期は、当初の予定どおり3月頃の予定です。

今後も引き続き、27 棟へのエレベーターの早期設置を京都市に強く訴えていくとともに、下之町西部ブロックの市営住宅建替えについて、北部第三・第四地区の事業計画見直しを踏まえながら、用地や手法について検討を進めていきます。



工事の状況（北から望む）



工事の状況（東から望む）

屋形町ブロック部会（部会長：米戸 繁行）

屋形町新棟（仮称）の建設に向けての取組みは、崇仁まちづくり推進委員会と京都市、11～13 棟の住民の皆様の協力のもと、部会や意見交換会、住戸見学会を開催して検討を進めてきました。現在は、実施設計が進められています。

また、屋形町での建替えは現地での建替えとなるため、現在 11～13 棟の住民の皆様には、屋形町新棟（仮称）が完成するまでの間、崇仁学区にある他の市営住宅（周辺の仮設住宅を含む）に仮住まいしていただくことを予定しています。

仮住まいのための各住宅への引越しは、今年の 4 月以降から秋頃にかけて順次行われる予定ですので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



外観イメージ図（南東から望む）

◆基本計画の概要

構造：鉄筋コンクリート造

階数：6 階建（一部 5 階建）

戸数：50 戸

方向性：多様な世代・世帯が集える

まちづくり
地域住民との触れ合いのある
まちづくり
鴨川などの周辺環境を生かした
まちづくり

交流ゾーン合築施設の場所が決定しました

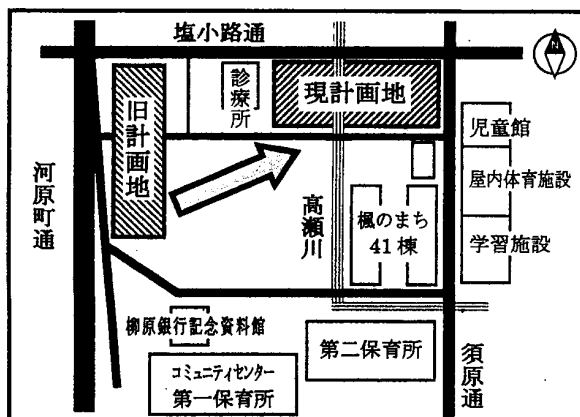
交流ゾーン部会（部会長：山内 政夫）

交流ゾーン合築施設につきましては、当初予定地での早期建設が困難な状況となったため、建設場所を変更して新たに基本設計に着手することになりました。

新たな建設地は、北部第三・第四地区事業計画の見直し作業と調整のうえ、塩小路須原南西角（41 棟北側）に決定されました。

今後は、1 月中に基本設計作業に着手するとともに、3 月までに地質調査、埋蔵文化財の試掘調査が行われる予定です。

なお、基本設計に関しましては、昨年に行いましたワークショップで出された住民の皆様の意見を尊重し、設計へ反映できるよう検討していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



旧計画地（▨部分）と現計画地（▤部分）

みんなの手でまちをキレイに！！

NPO 法人崇仁まちづくりの会では、自治連合会と共催で『高瀬川クリーン大作戦』に取り組んでいます。この活動は、毎月第 1 土曜日に高瀬川の廃川跡を中心にもちの美化活動を行っています。

直近では、昨年 12 月 18 日に、崇仁小学校の児童も参加し、新年に向けて廃川跡をはじめ、河原町通などを約 35 名で掃除しました。

今後も、子どもたちや地域住民の方たちとコミュニケーションをとりながら、和気あいあいとした活動を末永く続けていくためにも、ご近所・ご友人とお誘い合わせのうえ、多くの方のご参加をお待ちしています。



活動の様子

◆『高瀬川クリーン大作戦』2 月のご案内◆

日 時 平成 17 年 2 月 19 日(土) 午前 11 時～12 時

（2 月は臨時に第 3 土曜日に行います）

集合場所 崇仁コミュニティセンター前

※ゴミ袋や火バサミ、手袋等の道具は用意していますので手ぶらでお気軽にご参加ください。



崇仁まちづくりニュース

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田正治

発行日
2005.06.28
第 4 1 号

【進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪】

日頃は、崇仁のまちづくりにご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。さて、平成 17 年も早 6 ヶ月が過ぎました。その間、塩小路高倉第 1 棟（仮称）及び、南部新 1 棟（仮称）の建設は着実に進行してまいりました。また、屋形町におきましては、新棟の 17 年度中の着工をめざして、着々と準備を進めております。仮移転に際しましては、皆様のご協力をお願い申し上げます。さらに、3 月には下之町西部 24 棟へのエレベーターの設置工事が完了、供用が開始されるなど、今年も崇仁のまちづくりにとって、飛躍の一年となりそうです。

崇仁まちづくり推進委員会の活動は、平成 8 年の発足から、今年の 7 月で 10 年目を迎えます。これまでの活動が実りあるものとする事ができましたのは、住民の皆様のご理解とご協力、積極的なまちづくりへのご参加と、京都市のお力添えがあったからだと確信しております。まだまだ様々な課題が山積しておりますが、今後も崇仁のまちづくりの為に全力を尽くしてまいりますので、変わらないご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

会長 奥田 正治

まちづくり報告会について

3 月 24 日に崇仁コミュニティセンター講堂にて、住民の皆様方をはじめ、下京区選出議員の方々、そして京都市や国土交通省の方々をお招きし、まちづくり報告会を開催いたしました。この会におきまして、まちづくり推進委員会から、各部会の取組の報告をさせていただきました。今後もまちづくりの取組の様子状況などをご報告させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。



まちづくり報告会の様子

国土交通省及び内閣官房都市再生本部事務局への要望活動について

本年2月17日に、まちづくり推進委員会の代表が京都市の担当職員とともに、国土交通省住宅局及び内閣官房都市再生本部事務局を訪ね、崇仁のまちづくりにかかる要望を行いました。

崇仁のまちづくりは平成8年の崇仁まちづくり推進委員会の発足以来、高瀬川の流路変更や41棟の完成など、目に見える形で事業が進みました。しかし北部第四地区において多くの住宅建設が残されており、また、人口減少により地区の活気が失われつつあります。

そこで、事業を早期に完了し、これまでの枠を超えた手法を行えるよう、要望を行いました。要望は大きく4つ行いました。

1つ目は、定期借地権設定による改良住宅の供給です。従来の改良住宅が地区内に居住される方が賃貸で入居するものであるのに対し、これは土地を京都市から長期で借り、建物は分譲するというものです。これにより、持ち家志向のある方が地区内に住み続けることができ、少子高齢化に歯止めをかけるものとなります。

2つ目が商業の活性化についてです。従来の事業手法にはない、京都駅前の好立地を活かし、他からの集客につながる商業展開ができるよう求めました。

3つ目は福祉のネットワークの拡充です。現在、デイサービスセンターや診療所が一体となった交流ゾーン合築施設の基本計画を進めておりますが、単身の高齢者、とりわけ介護を必要とする方が安心して暮らせるまちを創出できるよう要望しました。

最後に、年間30万人が利用するといわれている京都府の運転免許更新サブセンターを地区内に誘致し、新たな人の流れを呼び込めるよう要望いたしました。

国からの回答としてはすべての要望が通るものではありませんでしたが、まちづくり推進委員会としてはさらなる崇仁のまちづくりのために、引続き要望を行ってまいります。

各ブロック部会の取り組みについて

小稲荷町・郷之町西部他部会（部会長：竹口 等）

塩小路高倉 1 棟（仮称）は、今年の 11 月の完成に向けて、内装や設備などの工事が順調に進められています。

また、5 月下旬には部会を開催し、店舗についての希望調査を実施することや入札方式で入居住居を決定することなどを確認しました。

東之町・西之町ブロック部会（部会長：福田 健一）

南部新 1 棟（仮称）は、今年の 12 月の完成に向けて工事が着実に進められています。また、新築する住棟には、他の棟と見分けがつきやすいように、建物上部に夜でも見やすい文字板をつけることにしました。南部の南（MINAMI）の頭文字の「M」と建設する順番の数字を組み合わせ、「M1」「M2」・・・と棟ごとにつける予定です。

下之町西部ブロック部会（部会長：松井 勇）

皆様のご協力により、昨年 7 月から工事に着手されていた 24 棟のエレベーター設置工事も、今年の 3 月 17 日から利用開始となりました。住み続けられるよりよい崇仁のまちを目指して、引き続きエレベーターの設置や建替えについて、京都市に呼びかけていきます。

屋形町ブロック部会（部会長：米戸 繁行）

住民の皆様のご協力により取りまとめてきた計画にもとづいて、実施設計が順調にすすめられています。また、11 棟から 13 棟にお住まいの皆様には、屋形町新棟（仮称）が完成するまでの間、崇仁地区にある他の市営住宅に仮住まいしていただきますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

交流ゾーン部会（部会長：山内 政夫）

ワークショップなどで住民の皆様から頂いたご意見を尊重しながら協議を重ね、交流ゾーン合築施設の基本設計を策定中です。さらに今年度は実施設計も策定していきます。

今枝議員が市会で質問

5月20日、下京区選出の今枝徳蔵議員が、京都市会本会議代表質問において、崇仁のまちづくりについて質問しました。趣旨は「崇仁のまちづくりについて、コミュニティゾーンの計画もようやくまとまってきたところである。そんな中、地元の声を聞くと、具体的な対応や今後の問題について、窓口を一本化していただきたいとの要望がある。縦割り行政の弊害と言われぬよう、窓口の一本化を考えるべきであると考えますがいかがでしょうか。お伺いします。」というものです。

それに対して、京都市の大島都市計画局長は、「崇仁のまちづくりについて解決すべき問題が残されている。まちづくりを早期かつ着実に推進するためには、全庁的な連携のもと、各局が自らの責務を果たしていくことが必要である。とりわけ、住環境整備事業については、都市計画局が中心となって、しっかりと取り組む。」と回答しました。

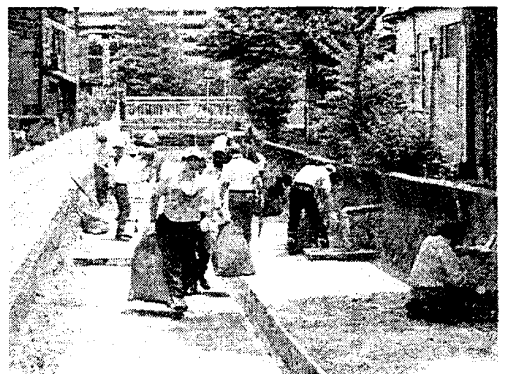
みんなの手でまちをキレイに！！

NPO 法人崇仁まちづくりの会では、自治連合会と共催で『高瀬川クリーン大作戦』に取り組んでいます。この活動は、毎月第1土曜日に高瀬川の廃川跡を中心にまちの美化活動を行っています。直近では、6月4日に、多くの方々にご参加いただき、高瀬川の廃川跡の清掃活動を行いました。今後とも、まちをさらに美しくすると共に地域づくりにも貢献していきたいと考え、当活動を続けていきたいと思っておりますので、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

高瀬川クリーン大作戦 7月期の御案内

7月2日(土) 10:00~

崇仁コミュニティセンター前にお集まりください。
道具等は御用意いたしますので、手ぶらで御参加下さい。



活動の様子

崇仁まちづくりニュース

発行日
2006.05.08
第 4 2 号

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田 正治

【進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪】

平素より崇仁まちづくり推進委員会の活動にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

昨年の 7 月で、崇仁まちづくり推進委員会は結成 10 年目を迎えております。現在も、崇仁のまちづくりは一步一步確実に前進しております。小稲荷町では、塩小路高倉に 51 棟が昨年 11 月に竣工いたしました。南部につきましては、M1 棟が昨年 12 月に竣工し、さらに屋形町市営住宅の建替計画が着実に進んでおります。また、合築施設についても、計画の推進に力を注いでいるところです。

このように崇仁のまちがさらに良い方向へと進化し続けておりますが、今後も皆様が安心・安全・快適に暮らすことのできる崇仁のまちを目指していきます。京都市をはじめ、各方面の方々とのパートナーシップの下で、まちづくりに全力を尽くして参りますので、皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

会長 奥田 正治

「崇仁まちづくりに関する要望書」に対する京都市からの回答について

崇仁まちづくり推進委員会では、昨年 11 月に京都市に対して、「崇仁まちづくりに関する要望書」を提出し、今年の 3 月に、京都市から回答を得ました。内容は以下のとおりです。

住民の人口減少や高齢化などで地域活力が低下している状況を踏まえ、事業の早期進捗を図ることが不可欠であるという観点から取り組んで参ります。

そのために、地元とのパートナーシップをより強固なものとするとともに、従来の住宅地区改良事業の手法だけでなく、新しい手法も研究する中で、京都駅に近い立地特性を踏まえたまちづくりも考慮し、事業を推進して参ります。

1 公的施設（運転免許更新サブセンター）の誘致

運転免許更新サブセンターを崇仁地区に誘致することは、市民の利便性はもとより、崇仁のまちづくりを進めるうえでも、非常に有益であると認識しております。

今後とも、同センターの崇仁地区への設置に向けて、府と協議を行っていくとともに、用地の面的確保ができるよう、用地買収を進めて参ります。

2 公的施設（下京消防署の出張所）の誘致

平成 20 年度の下京消防署の移転に併せて、下京区全体の消防救急体制のバランスを考慮し、消防出張所のあり方について検討して参ります。

3 多様な住宅供給の一環としての定期借地権付分譲住宅の具体化

改良事業を進めている地区では、補助金の返還なしに定期借地権付分譲住宅を実現することは難しいとの国土交通省の見解が示されておりますが、改良住宅の建替えなどにより定期借地制度が活用できるよう具体化に向けた検討を進めて参ります。

また、定期借地権付分譲住宅のみならず、人口減少に歯止めをかけ、まちを活性化するための手法を様々な角度から検討して参ります。

4 次期住棟建設に向けての基本計画策定

事業の早期進捗を図るためには、クリアランスの受け皿となる住棟の早期建設が不可欠であるとの認識に立ち、事業を推進して参ります。

平成 18 年度では、塩小路高倉 2 棟（仮称）の基本設計に着手いたします。

5 下之町西部建替事業の基本構想策定

老朽化が進む下之町西部の改良住宅の建替事業については、崇仁地区全体の土地利用を踏まえたうえで検討して参ります。

6 高瀬川周辺環境の整備

高瀬川沿の遊歩道については、現在のところ、41 棟Ⅰ・Ⅱ敷地西側部分が整備されておりますが、今後は、周辺エリアの事業進捗に合わせる形で、整備に向けて取り組んで参ります。

当面は、交流ゾーン合築施設（仮称）の平成 20 年度当初開設に合わせる形で、塩小路通より南側の遊歩道整備に向けて取り組んで参ります。

※ 平成 18 年度に取り組む予定の主な事業

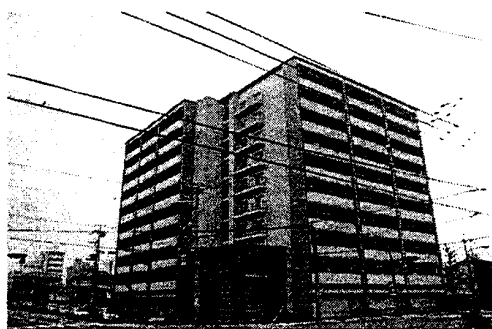
- | | |
|---------------------|---------------------|
| ・塩小路高倉 2 棟（仮称）の基本設計 | ・崇仁南部新 2 棟（仮称）の実施設計 |
| ・交流ゾーン合築施設（仮称）の建設着工 | ・屋形町新棟（仮称）の建設（継続） |
| ・北三地区東西道路の移設整備（継続） | ・北四地区東西道路の設計（継続） |
| ・北四地区独立店舗の建設（継続） | |

また、18 年度に取り組む主な予定として、以上の文書回答のほかに、下之町西部の建替えについても、検討を重ねていくとの回答を得ました。

各ブロック部会の取り組みについて

小稲荷町・郷之町西部他部会（部会長：竹口 等）

北部第四地区で初めての住宅となる 51 棟が完成し、入居がはじまりました。51 棟の位置が京都駅から歩くと崇仁地区の玄関口となることから、様々な人々を暖かく迎え入れたいとの願いを込めて、「あけびのまち」という愛称を名付けました。



【51 棟（南西から望む）】

入居予定者との買収交渉を早く完了して、安心して暮らせるコミュニティづくりを進めたいと考えています。

さらに次期住棟の敷地予定地や規模などについても検討をはじめていきます。

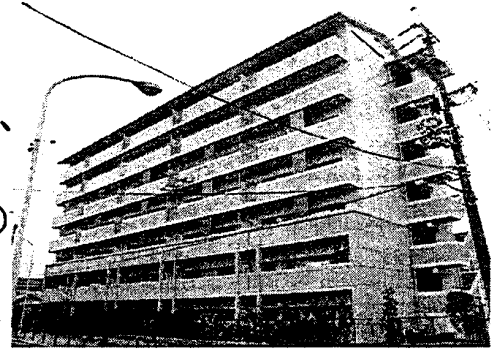
あけび（通草・木通）は、つる状の樹木で春にはかわいい花を咲かせ、秋になると細長い果実をつけ、熟すとぱっくりと口を開けることから「開け実」「明け実」とも書かれます。つる（細木）は縄などの材料となり、実（食用）は食用されます。花ことばとしては、「才能」「唯一の恋」が一般的ですが、「愛情の絆」「固い団結」という意味合いにも用いられます。

東之町・西之町ブロック部会（部会長：福田 健一）

崇仁地区で最初の建替えとなるM1棟については、入居予定の皆さんの参加により計画をとりまとめ、平成17年12月に完成し、現在多くの皆さんが入居されています。

引き続き、2棟と3棟の跡地に建設予定のM2棟についても同様に、入居予定の皆さんと計画を進めていきます。

みなさんのご協力をよろしくお願いします。



【M1棟（北東から望む）】

下之町西部ブロック部会（部会長：松井 勇）

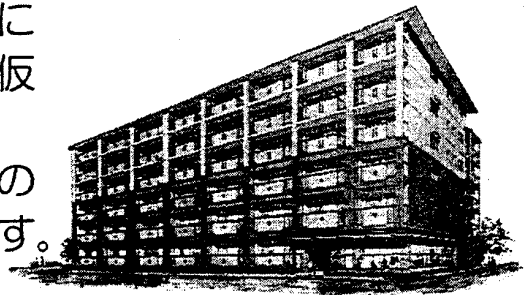
下之町西部ブロックでは、住宅の老朽化や入居者のみなさんの高齢化が進んでいます。

このような状況を踏まえ、住み続けられるよりよい崇仁のまちを目指して、引き続きエレベーターの設置や建替えについて、早期に具体的な検討にはいるよう、京都市に強く呼びかけていきますので、皆様のご支援をよろしくお願いします。

屋形町ブロック部会（部会長：米戸 繁行）

現地での建替えである屋形町ブロックについては、対象住民の皆さんには、新棟の計画だけでなく、仮住まい先についても意見交換を重ねていただき、現在仮住まいして頂いています。

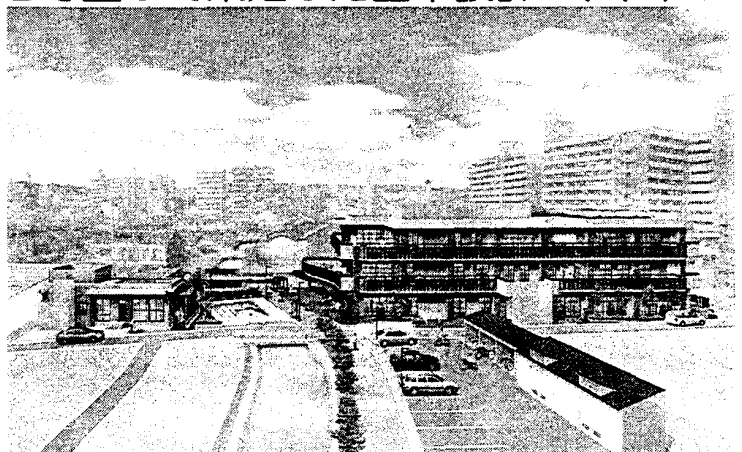
今後は新棟の建設に着手してまいりますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。



交流ゾーン部会（副部会長：菱田 不二三）

【外観イメージ図（南東から望む）】

住民の皆様から頂いたご意見を尊重して策定した基本設計が、昨年8月に完成し、その内容に基づいて実施設計を進め、各施設の詳細なレイアウトや建物の外観が概ねまとまりました。今年度中の着工に向けて、さらに取組を進めていきます。



【合築施設の完成予想図】

まちづくり報告会が開催されました

3月30日（木）午後7時から、崇仁コミュニティセンター講堂にて、平成17年度崇仁まちづくり報告会が開催されました。当日は住民の皆様をはじめ、下京区選出の議員の方々、そして京都市や国土交通省京都国道事務所の方々にご参加をいただきました。

報告会では、住民の皆様へ17年度のまちづくりの取組みについて、まちづくり推進委員会から報告をさせていただいた後、質疑応答を行い、皆様からまちづくりに関するご質問やご意見をいただきました。

今後も崇仁のまちづくりの取組みなどについて、ご報告してまいります。皆様もまちづくりに関する様々な取組みへのご参加をよろしくお願いいたします。



【まちづくり報告会のようす】

お知らせ

高瀬川クリーン大作戦のお知らせ

NPO 法人崇仁まちづくりの会では、崇仁自治連合会と共催で「高瀬川クリーン大作戦」に取り組んでいます。今後とも皆様のご参加をお待ち致しております。



【高瀬川クリーン大作戦のようす】

国土交通省京都国道事務所からののお知らせ

現在 JR 線路の下で行われている河原町通の工事ですが、これまでの東側歩行者通路部分に側道を整備するための工事にとともない、平成18年4月3日（月）から平成19年6月頃にかけては、新たに設ける歩行者用通路への迂回をお願い致します。

崇仁まちづくりニュース

発行日
2007.05.07
第 4 3 号

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田 正治

【進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪】

平素より崇仁まちづくり推進委員会の活動にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

現在、崇仁のまちづくりは、屋形町新棟（仮称）や合築施設（仮称）の建設、崇仁南部新 2 棟の計画や国道 24 号工事の進捗など、これまでの取り組みの成果が、目に見えるかたちで現れてきております。

今後とも、住民の皆様をはじめとして、京都市など各方面の方々とのパートナーシップのもとで、ハード・ソフトの両面から、まちづくりの活動に邁進して参りますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

会長 奥田 正治

まちづくり報告会を開催しました



【平成 18 年度崇仁まちづくり報告会のようす】

3月23日（金）午後7時から、崇仁コミュニティセンター講堂にて、『平成18年度崇仁まちづくり報告会』を開催いたしました。当日は住民の皆様をはじめ、下京区選出の議員の方々、そして京都市や国土交通省京都国道事務所の関係者の方々にご参加いただきました。

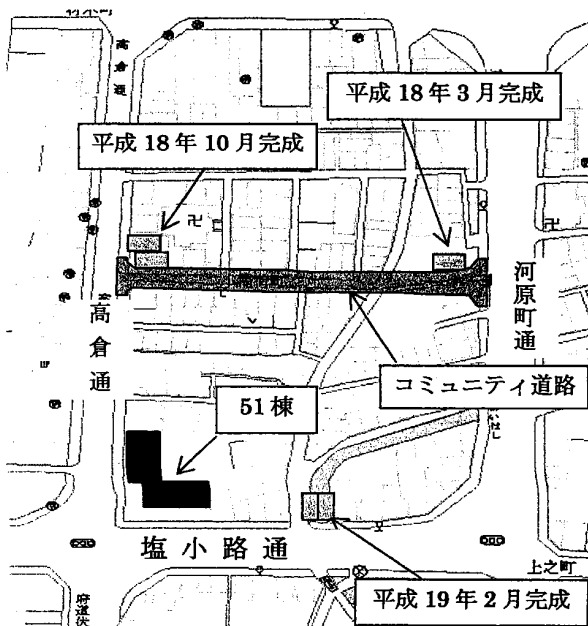
報告会では、崇仁まちづくり推進委員会から、平成18年度のまちづくりの取り組みについて皆様へ報告をさせていただいた後、質疑応答を行い、皆様から多くのまちづくりに関するご質問やご意見をいただきました。

なお、報告会で報告しました内容については、当紙面に掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

各ブロックの取り組み

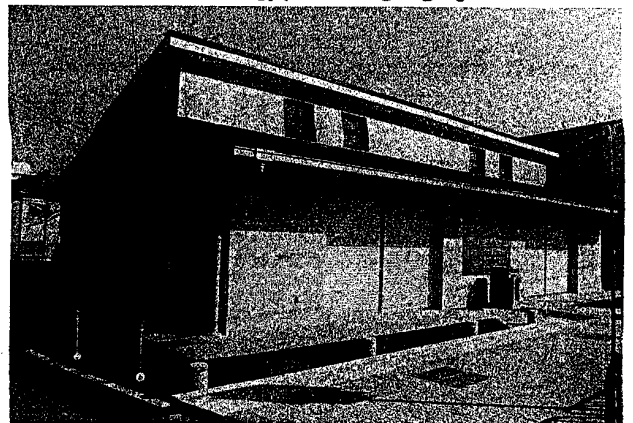
小稲荷町・郷之町西部他部会（部会長：竹口 等）

平成 18 年 4 月から入居を進めている 51 棟については、平成 19 年度末までに、ほぼすべての入居が完了する見込みです。51 棟 1 階のコミュニティスペースにおいては、装飾品が登録文化財である『崇仁船鉾』を展示し、多くの方にご覧いただき、好評を得ています。また、平成 18 年 3 月に河原町通沿いに 1 店舗、同年 10 月に高倉通沿いに 2 店舗、平成 19 年 2 月に塩小路通沿いに 2 店舗の独立店舗が完成しました。



【塩小路通沿いの独立店舗】

平成 19 年度は、車のスピードを抑制させるために車道をジグザグにした歩行者に優しいコミュニティ道路を整備する予定です。さらに次期棟の建設に向けて、京都市と協力して進めていきますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。

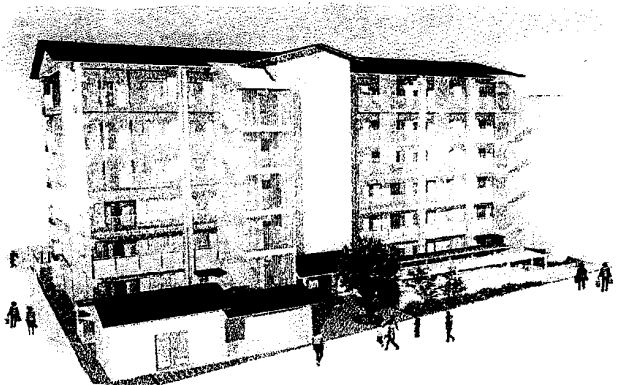


東之町・西之町ブロック部会（部会長：福田 健一）

＊崇仁市営住宅『新 2 棟』の基本計画がまとまる＊

『京都市崇仁まちづくり計画』の基本方針に沿って、八条・須原交差点に面する事業用地に、崇仁（南部）地区で最初の建替事業にふさわしい住宅『M 1 棟』が、平成 17 年 12 月に完成しました。

これに引き続き、2 棟・3 棟の敷地において、『新 2 棟』の建替事業に着手しました。新 2 棟の基本計画に当たっては、京都市と連携し、住民の皆様の参加を得て、平成 18 年 10 月に取りまとめました。今後、平成 21 年



【新 2 棟外観イメージ図】

※外観は、基本計画でのイメージです。実施設計、建設工事の中で変更が生じることがございます。

春の完成を目指して、実施設計、建設工事に取り組みます。

下之町西部ブロック部会（部会長：松井 勇）

下之町西部の住宅は、部屋も狭く、風呂もない状況であり、また老朽化も進んでいます。さらに、入居者の高齢化も進んでおり、階段の昇り降りが辛いなど日常生活に支障が生じているという切実な声が多数寄せられています。

このような状況を踏まえ、住み続けられるよりよい崇仁のまちを目指して、崇仁まちづくり推進委員会として、下之町西部の建替えを検討する部会を発足し、京都市に建替計画を提案していくなどの取り組みを行います。またエレベーターの設置についても、京都市に強く呼びかけていきますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。

屋形町ブロック部会（部会長：米戸 繁行）

＊崇仁市営住宅『屋形町新棟（仮称）』を建設中＊

『京都市崇仁まちづくり計画』の基本方針に沿って、鴨川に面する敷地で、屋形町にふさわしい住宅を建設しています。



【屋形町新棟（仮称）外観イメージ図】

※施工の都合により、建物の形状・仕様・色彩・植栽などに変更が生じる場合があります。

『屋形町新棟（仮称）』の建設にあたっては、京都市と連携し、住民の皆様の参加を得て、計画を取りまとめてきました。平成18年5月に建設工事に着手し、建物本体は屋根まで出来上がり、現在は内装工事などを行っております。

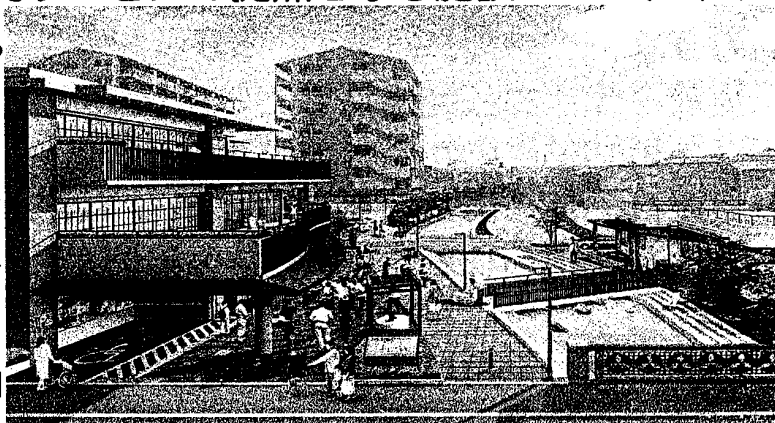
今後、平成19年9月中旬の完成を目指し、外回りの工事などを進めてまいります。

交流ゾーン部会（部会長：山内 政夫）

人権文化の息づくまちづくりに向けた交流とコミュニティ活動の拠点、保健・医療・福祉の総合的サービスの拠点となる施設として、昨年12月に工事に着手しました。

今後は、平成20年度当初の施設開所に向けて、着実に取り組みを進めて参りますので、引続き住民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

【北側から見た完成予想図】



国土交通省京都国道事務所からのお知らせ

国道 24 号工事は、5 月初旬に南北連絡通路の工事を終えるなど、平成 20 年春の開通に向け工事を進めております。

今年度は塩小路・八条交差点の改良工事を行い、また本線の車両通行を西側車線から東側車線に切り替えて本線の最終工事に着手します。これに伴い 27 棟北側交差点から本線への通行はできなくなりますが、代わりに塩小路通への迂回路を新設することとしています。

住民の皆様には何かとご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

下京中学校開校・崇仁小学校の統合問題について

長きにわたって崇仁学区はじめ、地元に愛されてきました皆山中学校が平成 18 年度をもって廃校となりました。そして、皆山中学校を含む 5 つの中学校が統合され誕生した下京中学校で、4 月 3 日に開校式が、4 月 5 日には入学式が開催されました。

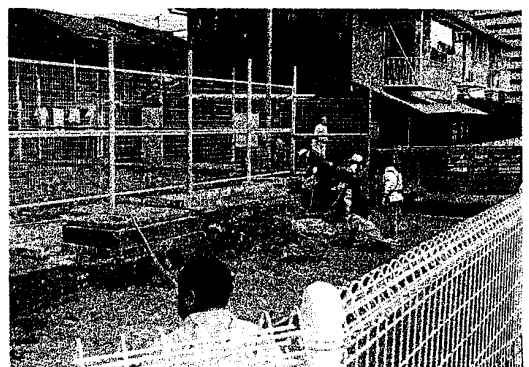
また、崇仁小学校の統合問題につきましては、昨年、崇仁 PTA 臨時総会にて、崇仁・六条院・植柳の 3 校の統合推進が決議されました。さらに六条院小・植柳小の PTA 総会でも統合推進が決議され、これを受け、1 月 15 日に各小学校の PTA や地元自治会関係者の代表が集まり、『3 校統合推進委員会』が開催されました。そして当委員会の場にて、早期の 3 校統合実現について合意に至り、2 月 6 日には、京都市教育委員会へ 3 校統合の『要望書』が提出されました。今後、3 校統合実現に向けて話し合いが続けられます。今後の動向にご注目下さい。

みんなの手でまちをきれいに！

NPO 法人崇仁まちづくりの会では、崇仁自治連合会と共催で、毎月第一土曜日（諸般の事情で変更する月もあります。）に『高瀬川クリーン大作戦』を実施しております。

平成 15 年から開催しておりますこの活動は、毎回多くの方に参加いただき、すっかり崇仁のまちに定着することができました。【高瀬川クリーン大作戦のようす】

今後とも、この住民主体の草の根のまちづくりの活動を大切にし、崇仁のまちづくりに貢献していきたいと考えておりますので、多数のご参加をお待ちしております。



崇仁まちづくりニュース

発行日
2008.05.28.
第 4 4 号

発行責任者 崇仁まちづくり推進委員会 会長 奥田 正治

【進めようまちづくり 広げよう崇仁の輪】

平素より崇仁まちづくり推進委員会の活動にご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年9月に、屋形町ではW1棟が完成し、小稲荷町ではコミュニティ道路の整備と共に、塩小路高倉新2棟の基本計画がまとまりました。また、今年3月には、人権文化の息づくまちづくりに向けた交流とコミュニティ活動の拠点、保健・医療・福祉の総合的サービスの拠点となる施設として、「うるおい館」が完成しました。

このように、崇仁のまちづくりはハード・ソフトの両面から着実に進んでおります。今後とも、住民の皆様をはじめ、京都市など各方面の方々とのパートナーシップのもとで、崇仁のまちづくりに全力を尽くして参りますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

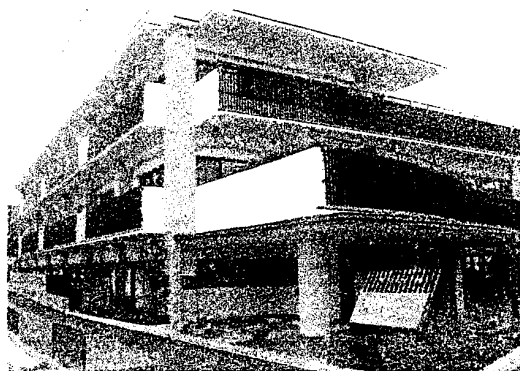
会長 奥田 正治

「うるおい館」完成！

人権文化の息づくまちづくりに向けた交流とコミュニティ活動の拠点、保健・医療・福祉の拠点となる施設として、コミュニティセンターやデイサービスセンター等の福祉施設等を備えた複合施設「うるおい館」が完成しました。

各施設の開所に先立ち、平成20年3月23日（日）に、竣工式・記念のつどいが開催されました。

記念のつどいでは、施設の見学会が行われる中、京都市消防音楽隊や崇仁御囃子会、崇仁小学校1年生児童による太鼓の演奏などが、式典を盛り上げました。



【東棟】

東 棟	西 棟
<3階> コミュニティセンター	診療所 消防分団器具庫
<2階> コミュニティセンター 地域包括支援センター 健康づくりコーナー	
<1階> 交流ロビー 老人デイサービスセンター	

【施設の概要】



【竣工式で祝辞を述べる奥田会長】



【交流ロビーで力いっぱい太鼓を演奏する崇仁小学校の児童たち】

各ブロックの取り組み

小稲荷町・郷之町西部他部会（部会長：竹口 等）

平成19年度は、車のスピードを抑制させるため、車道をジグザグにした歩行者に優しいコミュニティ道路の整備がはじまりました（工事中写真参照）。平成20年7月末完成予定です。

また、新しくできる道路の南側には、51棟に次ぐ塩小路高倉新2棟（仮称）の計画が進んでいます。現在、住棟の基本計画が完成したところです。住棟の基本計画の作成に当たっては、京都市と連携し、51棟の住戸見学会やワークショップを開催しながら、住民の意見を反映させた基本計画に仕上がっています。今後、平成23年度の入居開始を目指して、実施設計、建設工事に取り組んでいきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



【現在工事中のコミュニティ道路】



【新2棟外観イメージ図】

東之町・西之町ブロック部会（部会長：福田 健一）

「新2棟」の建設については、住民の皆様の参加を得て、旧2棟・旧3棟の敷地において取組を進めています。

平成18年には基本計画を取りまとめ、平成19年10月には実施設計を終えました。現在は、遅れが生じてはいますが、施工業者選定の手続に入っています。

今後も早期の完成を目指して、取り組んで参りますので、皆様のご協力をお願いします。

＜京都市からのお願い＞

「新2棟」の建設については、昨年から、施工業者を選定するために入札手続を実施していますが、昨今の建材価格高騰の影響を受け、業者の決定には至っていません。今後は設計価格の見直し等を行い、再度入札を実施する予定です。

皆様方にはご迷惑をおかけしておりますが、早期の着工を目指して取組を進めて参りますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。